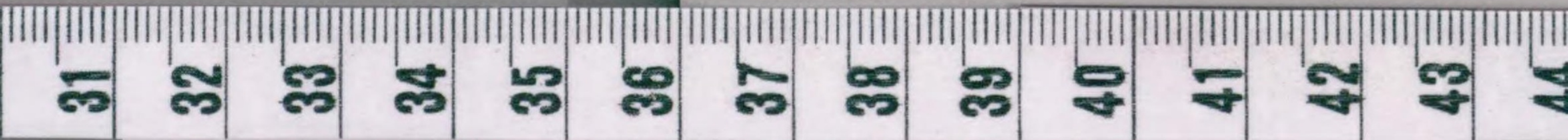
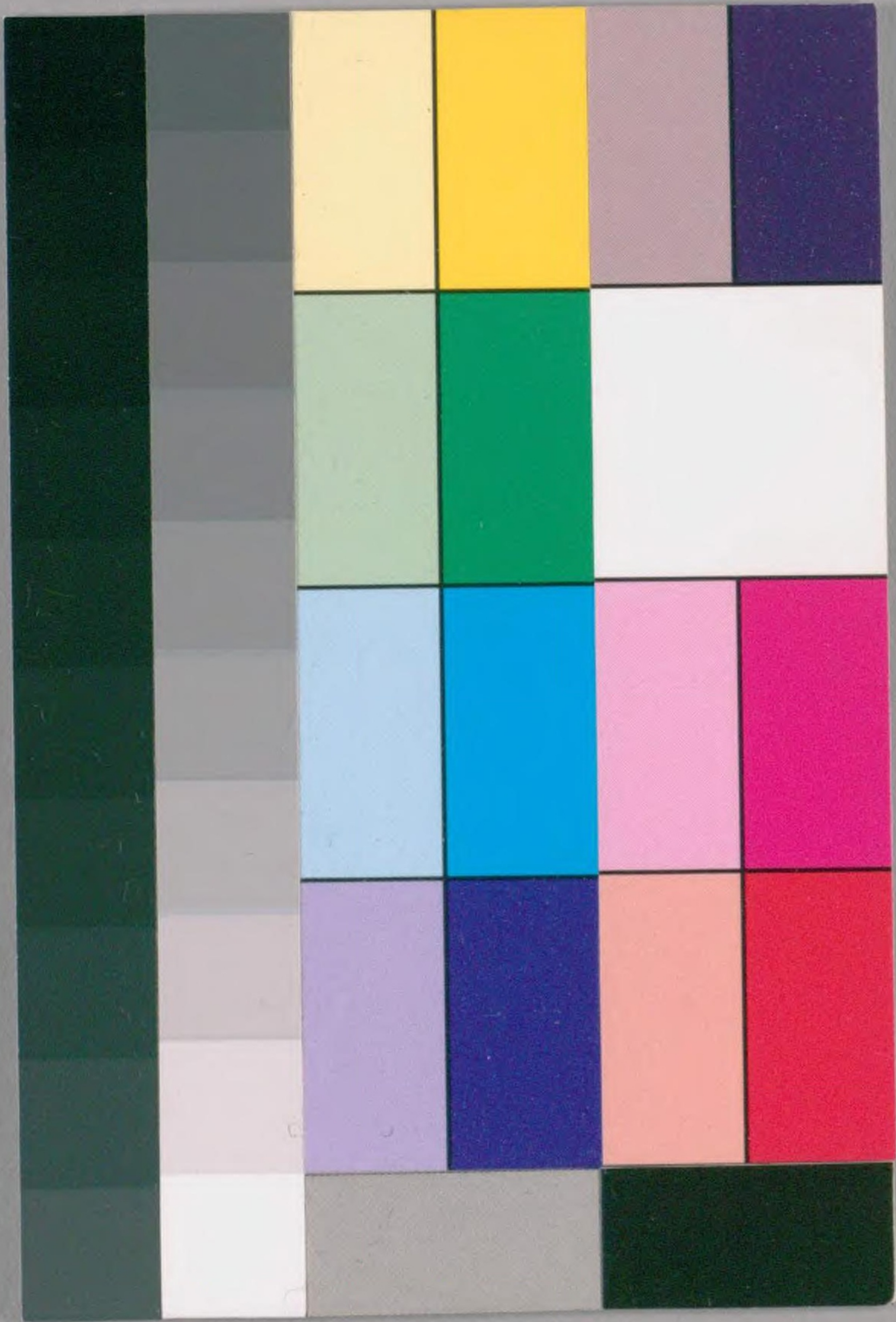




特 1
豆本
2779



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用



31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

俳羽異叙
 天正三十四年
 羽異之為言大案
 甚血飛お十の異ふ能
 改易道お九萬也



31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

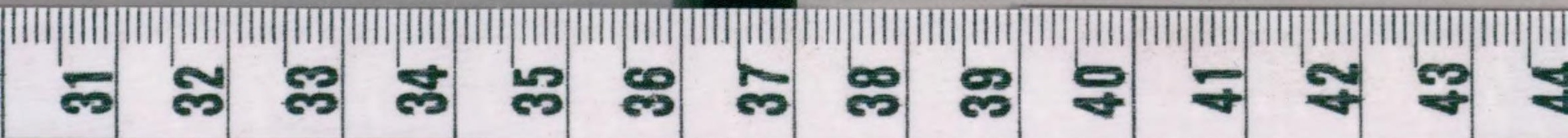
請求記号 特1-2779

ガラス使用

特1
-2779

雖^レ後世慕^ル尔^末技
尔^レ爾^レ是^レ無^レ爾^異何^ラ
以^レ不^レ能^レ致^ル其^レ道^ヲ
お遠^ニヤ^二意^ハ翁^ノ及^レ

門子^ノ麤^ク嵐^ノ之^ニ哲^ト
尔^レ翼^ヲ成^ス其^レ道^ヲ應^ニ
尔^レ謂^ハ不^レ致^ル言^ハ於^テ
九^ノ術^ニ乎^カ



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

寛政七歳乙卯春二月

平安 秋里湘夕



俳翼 序

古に俳句をいへりては
まはあまのうゑやいへりては
あまのうゑやいへりては
あまのうゑやいへりては
あまのうゑやいへりては

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

葦の雲母紙用をたもまらば

仙とちりんとまらあつち

あつち東山の園更羽に空

あつちかく漫子書

乙卯晩夏



俳翼

平安薙鳥秋里湘夕編

草菴小桃櫻あり門人子

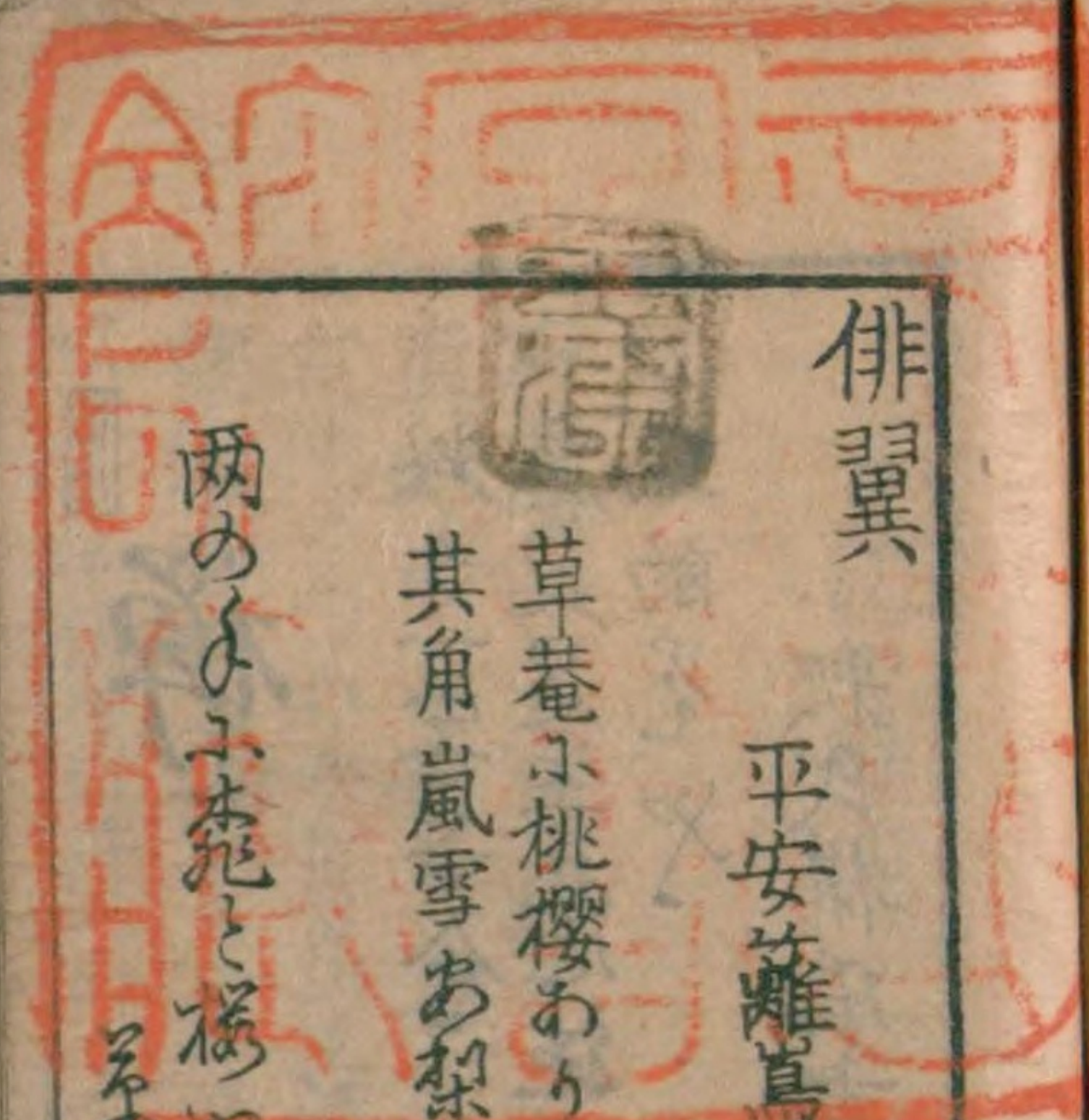
其角嵐雪あ梨

芭蕉翁

両のふふ苑と様や

系此候

二



31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

禪

此々一字子今
應此是生死心絕
端的也

釈氏佛頂書

古沈や桂飛心む

あり者

右此法語の鹿考根本寺佛頂和尚此
真跡ふして芭蕉翁示すの定於是
古沈の勺あり蕉翁生涯隨身没後
栗津正秀不修を今洛東南無庵乃
らる半化房の許ふありて家藏とん

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

聲うけし猿の齒白く今月

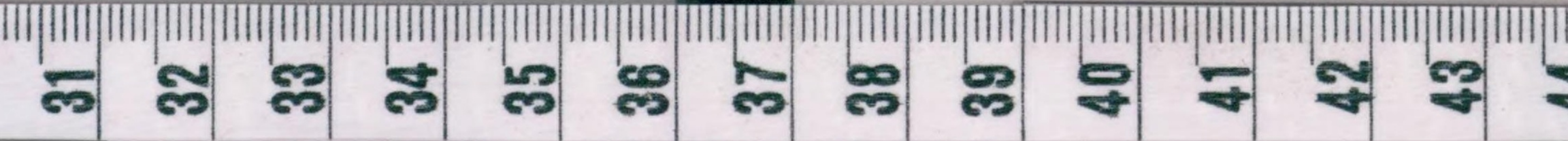
其角

芭蕉翁

直塩鯛は齒草も寒く魚の店

是は昔も此月といふ山猿叫山月
落し作りおせおとどた巴峽は
猿小もせと今月とやうに作る

沾衣^ラ色とはけり詩の餘情とも
いふるくやけの感念乃より
塩網の齒むきと出さるも冷くや
おもひもつちられん寒零は形よ
よと入れし老の果年のくれ
とも思れぬ魚も又も
魚の店と思れずも活茹は
妙や志きり其幽深を遠平



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

連せはせと海跡よふせうへく
知はへー

晋其角述

芭蕉翁四季發句

(春)



草茶茶うぼりや住勢の初便
元日小田毎の目こそをきりたれ
大は法のそをれうりちの何仰
○嵐おきこりたる山月神をそとれ
許やう姿ふ知り今羽の書
○二のの図なぬして
数ふまうはの花も浦の春
こんあぐにさうの賣の川は菜は



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

人もなぬまや鏡のうらみ梅
。乙州江戸へ赴く時
梅は采浦り子の有れとろけ
まきやうらなまのふ月と梅
常や柳のうらみ菘れす人
うらみまき魂ふねつら嬌柳
傘ふ押かんとるやあまた
うらみんれまき花うらみ根ま

猫の恋やむけ国れ鏡月
。湖水眺望
幸崎のねと花うらみ隴ふて
堀より海苔とけ老の姿もせて
梅柳さきあふ女うらみ
まきうらみ魚白たこ一寸
細うらみやあつれ梅麻
系中やあつれつらと啼ま雀

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

○笠ちりり

笠ちりりぬ密もまはる

○操所へり人ふ

瀬の糸見て来も勢田のおく
そは日な晴りぬぬま雀は
舵ふまはるを忘る紙子の夢
菜畑よ花見顔ふり雀うら
花の陰揺ふ似る旅度

糸はも花見のせうへ七三坊

○故主蟬吟公の庭前ふて

さるくの草をひぬに揺るか

奈ふの七市七堂伽藍八重櫻

○望湖水惜春

乃まを辺のひとおのみる

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

其角四季發句

春

試筆

鶴さしつら顔倒してそよの春
さしつら風のやむ萩や園の梅
雪や氷らぬ色を新日山
梅をく急名石の星は白ひけ
雀子やゆり陸子れ並の氣

何故溪辺双白鹭

无憂頭上亦垂糸

髪あふる髪并と心に溪辺ふ
石一ツは清た渚やむと櫻
白魚や清苦へ下都の買人をせ
ゆく水やゆ小とまるれりの味
陽岩や小磯の砂も吹立に
曲るるを曲てまらぬ柳うか



31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

。點印美人の字は琴形ふ
彫りしめて押す

まの月琴ふ物書さう免ぶ
筑戸川まじり水や紋れ髓
橋并豆うとそくり柳うみ
傾城の賢あまはけ柳は
。依巻川後舟
川上へ柳り梅り百ふり

春柳ふ梅福つとみ夕まきや
二月月の令下あやあし園の梅
日のまをささとうふ鶴のあが
海つらぬ虹とくくくは燕は
。二月十七日原驛
富士朧都のちまんで巻言
。涅槃今
仰とととととの花ふ月夜は



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

。南都小松入
傘小新の能れあり通
おほろとく松のまきふ月表
こかこほふ、江に星の枝
。角田川小
か小も其子をるらうこしれ
海苔とくく水の名ふとあ都考
夕日新所お小危こく入りか

まぬや粟の香小酔との危
。不二の給賛
二帆舟とほ尻ふあらかはみ
風ありふさるいぬふる柳う
。傾城の賛
青柳の額れ梯やここの月
。不生不滅の心
海棠の薨と悟れ祿と人像

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

醴子桃李此詩人盤白
侍人來て雛の室や延喜錢
ととがや雛に對しこ小盆
菓子盆ふけし人形や桃花
曲水ふたの氣遠い茶碗か
寐汁多に又月人月う初桜
つこささく小町姉の名がしらに
紙雛のさしくさささささ

白雲や花不成り顔は誤織
花おて人の礎子わ何？人
世の花や五年こおれ女は
。一茶杯上いと招れて
初桜天杓のさしこみんせん
。芳世のささささ
。月や桜はさめ思ふう所ら
酒を妻妻をよ妻は花見うね

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

穰のよる酒をさるるて櫻が
まねつくと斗散るも櫻が
京中へ此まの櫻や飛こてう
。東叡山ふれ入るる
小坊まやねふかふねくふささ
八つとれふあささうや一況ま
人々へと意の姿や花よる
。讀丹桂子

彼是ハ嵐者のゆ花れうせ
吹んさーやちりり花のおりしも

。惜花不掃地

。奴奴花不ね度ゆーり

。憶芭蕉翁

。月花や洛陽の寺社疎りふく

。代推

彫笛徒表るる時せん浮世小

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

海棠の花はくわい、や朧月
旦夕のそらわらう、つらう、
錦ふも、風の風、憎く、

。西讀

。花のたを、れ、れ、れ、れ、

。芭蕉の自四十二、懷周之賛

。師の坊は十年、た、く、柳陰

。二月、

。考ふ、ふ、ふ、ふ、ふ、ふ、

嵐雪四季之、

春

元日や、ふ、ふ、ふ、ふ、
年と、ふ、ふ、ふ、ふ、
この、ふ、ふ、ふ、ふ、
今朝の、ふ、ふ、ふ、

。三

。三

。三

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

あふ小智あふの鏡を磨ううや
惟ふと起しふ来らる二百うふ
丈夫いそやにぬを誓ふあつとあ
風波くる石ふとがけらせあう那
かつと冷抱あうはま夫婦
愛は高とくそ見えれ小摺新
梅一輪一まんやふあつとかさ
輪と猪入梅とぬはるる月表け

芭蕉翁

⑧



一ッ腹くくくくくろふ負ぬ衣更
郭公聲様くくや水のうん
子親帰く飛そいそくか
橋半角ゆりふよはく明石
やそ死ぬくくくくくくくく

⑨

十四

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

。明石板泊

指壺やこころねる髪とるの月

。甲斐山中

山麓のおくろい園は薄うさ
叶の子や稚き叶の終めとさみ
うにわれとさみいやはまゝを
情もほくも叶植る目ら表とさ
さこころねるあつて早く上川

。月山

まのまの川ぬれて月れと

。風瀑銭別

忘れとて小夜の中山あて涼め
さし蟹足をいさしと川外
山陰や夕とやちかづん瓜畑
面白くてやうく悲しむ舟舟
夕顔や酔て顔出は窓の穴

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

。長等川水樓

けりり目さるゆるあみお涼し

。岐阜山

城のわ吉井のしん山は向ん

。高館

夏仲や兵ともう夏乃江

水五月や綱のちと下も極縁

其角

夏

右の面起さるわやうさ

淀舟や大もころはや郭公

表這星のつらうさや子規

歴の下の馬のおふし時考

秋後をふさむくさるや夜更

其

十六



31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

ひききしお葉のききお朗

。夕のそまわ

うれ女や異質へ洞む夕牡丹

いみへのあはれまこの牡丹持

。河州親心

楠の禮ねうれへんう那

。筑前知と

志るね火の積ふうの牡丹が

ハチカクハチカクハチカクハチカク

葉の端もあつたうたつた

知のたやいつねの折の首後

吐ね持のやむふりもの舞り

。志る手う通る時

世中を志るたかじ小絲うた

飯粒の積まつた都う那

顔ねく田子のももそそや又月

三十七

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

こみされや富士の煙れを後に
み月あや人筆子けり小人形

。公内ふ入時

あやえんづくぬり種子のまきりうふ
後湯を浴ふふししる昔言
藤の花や金真ふやふふ藤
庵瘡れらとて遥ふ懐の那
鎌倉やむうの角れ増年

。宇治あく

川へ渡やあふ二重のやうら垣

。傍正谷

徒しとらふ目多く傍よかを考
よちりやう時の花う土用干
瓜の皮水もろりてふ遠きより
鳥飛紐のき解れあけさか
紅ふうちあめさこれ白ひけ

七八

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

あうそや探も雀もぬる夜

。中崎三邊の神前ふて雨を

とらそのふらりあめ

夕立や田をみあつりの神ふと

翌日雨ふた

。生死去来

鳥りぬらつてくもり葉の聲

夕顔や白く結垣根より

故とやくや褒ぬる国の私語

すしとや帆ふ船腹のあらしな

ひらぬの本賊と通序署者

。祐天の尚ふり

夕顔ふらつてかけを音名号

。逐陽陽公賦

憚の子れ兄ふ舜ふた憎さうか

袋渡ふ徳因しうと小念ふ

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

百屋

山嵐雪

夏

硯を傍ふりゆく白かき
の燈を月の夜ふせんやと
錦帳の鶉世とまの戸や蜀魂
をちをれを吟ひまはし
古をふりくる牡丹うさ
まを定ゆる時や苗乃を

のたをなをな
菴の夜もみく成ねや
筆やゆは夜の本れ隅を
。鳩牛
白をや角ふ目さの川
。漢文
葉中でおくく
志まの夜の長をくふ

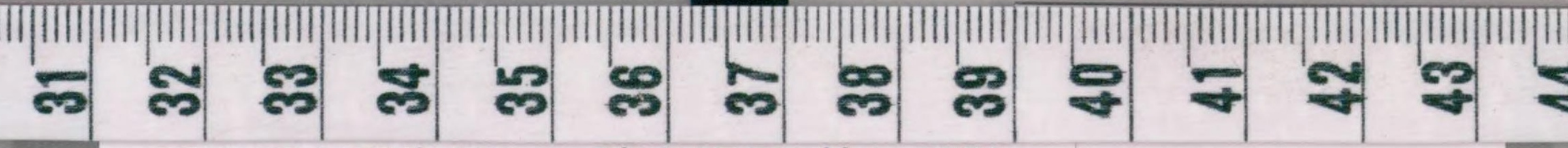
三



みまふくは上とあし、藤五把
山老のなるく、鳴や五月ぬ
おのころのふくりこころ異ふ
照分くをうりも異く海の上
。かやの涼
来るふのり、水は冷きとみふ
。途程意
我意や口も吸りねぬ、鬼灯

芭蕉公羽

初秋やそくみふく、丹波屋の香着
ゆゑ海や依はふ様とて天北川
あのをその縮妻とや、便うお
縮妻とよふとの園の紙燭外
魂系とく、焼場のたつり外



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

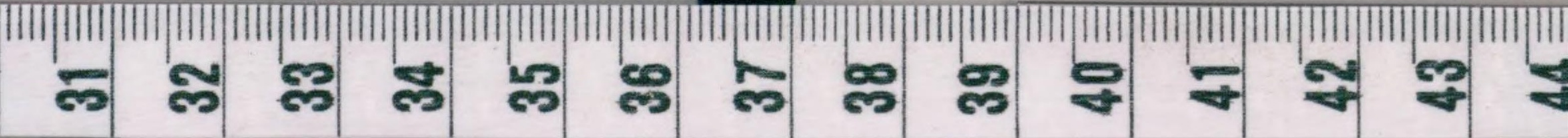
請求記号 特1-2779

ガラス使用

白雲とて存るは秋のうらみ
萩原や一夜のやとせ山の犬
あらしと目も難面も秋の風
。座石銘 無道人之短
お父を履きし秋の風
。角和夢虫句
おれふつれい合く入おとこ

藤い下よのかくさ人衣あり
道のく木槿は馬ふ喰れり
。加州
早稲の香や分入衣有後海
をたおしく人と体る月見うふ
名月や此とれりく夜とさ
。善光寺
月影や四門四宗もそく一ツ

廿二



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

山中や葉をよおぬ湯の白し

。如行亭

瘦きうらみのあけ菊のつぼみけ
鶉頭や房のあけ時ふん赤し
枯枝ふ鳥のとほりたる秋のくれ
秋の夜をちあしる世に
はるわり人ふし秋のくれ

其角

秋

つる人よとる灯籠よとる夕
二星恨む隣のみとる年十五
縮妻やとこのく東く人とを
送り火や定家の焼十文字
よる衣のけりややまぢひ

其

世三

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

雨後

あきくう芭蕉ふのりそよたたり
結晴て雷お敷いさねよー
いせ落くけね
機のおやそやうけて小ね系
竹の芭許由らむここやうまじ
つみくもくはああり庭の萩
糸月や陰を感じらぬ空の中

水相観の画

水相観の画

名月や居酒のまん頬やう
名月や空のくけね乃教
名月や味を定むるしり雀
更々く糸豆の蘗や杉の月

廿四

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

。張良圖

胸中此兵つてよふこ此月
名月やうくあふ神几帳

。會秀草

富士ふ入日空空探やうの月
酒笑ふりうぬ夜の房一ツ

。漆芥系きく

化珍や焼とろにの膏うら

。野外夕虫

情恰や狂ひ志月まる二月の月

。二挺まの深掉

髪を暁梳つれふ一星の落

。みの落ふ入う

砧さうん孫六を夜志津を浦

。遠里小世の虫はふはうりく

旁雨は花をさうのく物朗

廿五



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

。巖峩遊吟

清澗や松栂さみす。こがへ

。女中の茸栂と

茸栂や鼻の先とあつち

。舟中

ふいこの富士ふそまへや秋のそる

秋の空尾上の杉とそふれり

松虫ふ狐とさふれと安んか

舟城へいれふ入やうをみふ下

すむ月や松とこそとふ松

山川や梢ふ穂ふありかろ

お摧ふ穂とこころうの色

山畑の芋はるがふ杖栂う非

。二見ふて

空のう人ふ松風をうとふれ

そとと干は山田の時れ名栂ふ

たて

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

冊次

○田家

老妻小編干は窓へは織うか
庭木の卯うみ拾へる穂引

○井筒と略しける画小

いそれうと井輪ふむと入る外

○品川送鉤

房の腹元送るや舟此上

白雲小色遠さう舟程を考

○感微和尚小對に

そえ打や嘉衣子王うに交

は月うわぬさ色うりけ流

小原女や紅葉てうく麻の尻

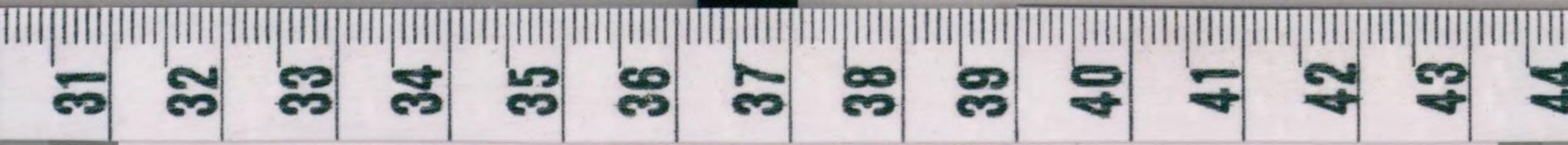
○あう人の徒者お子

お茶あふらう教へる酒の如ん

○さう雄みそ

け秋著文覺かきとるせじ

廿七



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

七十の梅もそとく子も明子也

。富士

笠取く富士れ旁笠時雨笠
新旁や空飛多を不二嵐

。背面達へて画て

武帝ふら田守とくく今秋の風
菊を切ぬほやふもさうりや
古くや小判さうくく菊は花

嵐雪

秋

。市中

盆すての秋ふた門の灯籠外

。七夕

七の夜半やふりやふりたる天の川
星をふふ妹うさん待女ふ

。七夕

。七夕

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

○閑居

瘦る身とこぼる涙と秋の風

○暮

齒のらとれあり暮の葉は表表

落葉のけろりとほや星使

七夕やかえり川つたる牛車

○防鴨河使

妻然や人目ほつたの河はくも

聖小孫とる年の思を好の月

○信濃催馬樂

美才たの祿とせむ後夜たまそ月初真蒼麦

とせ釣や水村山廓酒旗け風

あきと秋さむたりか山里を

初菊やなへるの頬の白たかく

蒼浪ふのをみたえり菊の岩

岩の菊杖うかたれを起つて

書

七

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

芭蕉翁

冬

初〜〜猿も小蓑かほけり冬
返子懐能愛ふ袴させふ冬
金屏の松れちひや冬籠
初雪や幸ふ菴子さ法立ル
木枯の身へ叶ぬふ似ふ冬

馬とこ人かむら者のり〜

○寒山自画賛

を掃ておん心忘る〜木外
酒のめい〜長夜の君
市人ふ〜人おれ差
長嘯の極しめらるる氣辨た〜
○十二月廿日 卯
お茶て花入探と梅枝

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

○世の早急なる人々をひらふ
たれせむ細心の氷魚を煮て食ん
たれば所定の市より馬
人小家と笑せしれりま忘れ
やう鞋もや也の瘦くまの才
恰のいけういられしれり
月おとこのさくららじ年の著

其角

① 釣橋の夕日ふかき水に
時をら酔やのころて村霞
。遊金閣寺
八尋の楠れ板をりりしれ
銅様のし窓つとく志られし

男

四一

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

○山田麻子おくのかんふて
小夜雨人と身ふまゝ山居外
つれづれとけふ暮る秋の後の色
○大和のつれづれに
たうやうらの旅はせむしやうれは
風や仲よりをさだめぬ
捨人やつれづれにふをけり
まふ板小判投たり怪子後

○東登十為宅みく
嵯峨山や都の酒れ我やう
かほこりれ常ふ死に枯野に
初若ふ何とおよふ舟の中
志らくもやこい枯木の夕附日
○国祿寺みそ
かゝひるこ井の二王や冬木立
むくせし夜のをちや紙子夜着

紀あふまきまの身や足袋頭巾
何となく冬衣襟を穿れり
直炭割火箸も斧の幽之
火してどうふたかり里夜具
。邪淫
妻あはれなく憎む小衣
富士うのむと多田の言れ早苗
顔もや暁のさむ下邳に橋

源氏りや季吟のふれは夷倭
海へ渡りしれや雲と浪の音
みりれく本賦に消るあはれ
炭くも臍のほ水鼻をくも
かゝ炭も其木の茶うらむ
務やんてさうらる人冬の縄
籠幅や氷の中よりわたり松
着火凍や簀子の叶れりす縁

○京あり人よ業内しき
急なり若く船頭あり都考
そふ念伴橋とこゆれをわたりも
初若くよくはらふ系れ安の那
若の目や船頭とめ顔の色
○寒山のさん
初る恩ふしの若はくん念ふれ
系若とかり人を輝し笠のう人

松の若考ふはらひのけりりるも
○松女土佐をむるふ人ふ
うむく成て

黒塚の客ありらひや園の若
鴨川の鴨と鉄論ふ若見うふ
○酒債尋常往見者

人生七十古来稀

詩ありんと年を食は酒債哉

サマテ

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

煤掃てねらねら女房あつしや
多の布をぬきとつてお蔵との
小傾城行てあやうんごのこれ
。市偶
弱法師・赤門ゆるを候これ
。雪窓
植料の史記も昨走れ堂うま
子へのことをあやうへんひの著

山嵐雪

冬

茶を煮てしけるあやうまはあさん
一葉ちういへも散らるる月夜に
。大黒の賛
神の爲に結ッ女房をちん
鴨下りて氷をよむ氷の扉

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

○あき
 鈴鴨の声ふり渡る月を
 落ふらぬ冷やうしに此鴨
 冬の日おと寝るに
 君見よや家よりそを莖の桶
 ○あき
 ふくみきてまゝに姿や東の
 蕎麦まうちて眉鬚白く年々暮

俳翼四季詞

春 青陽 芳春 韶光 蒼天

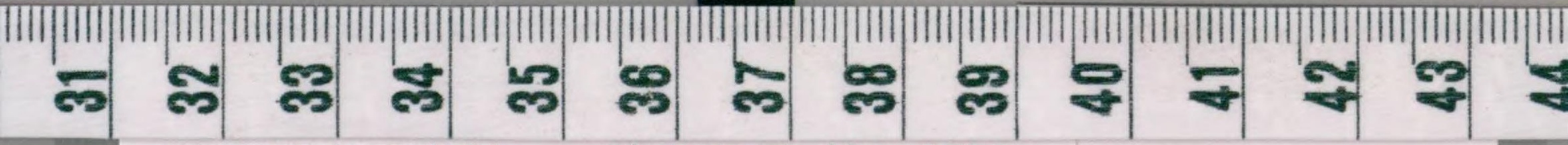
東君 三春 勾芒 九春

正月 孟春 首歳 肇歳 端月

葦載 限月上月 夏正大簇律

歳初月 初を月 賀月 じつ

馬
 四二六



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

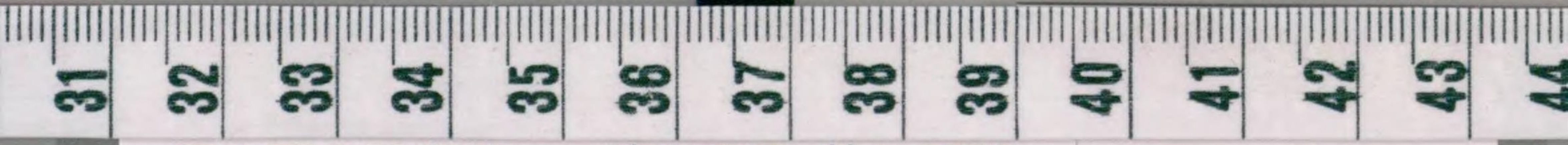
ガラス使用

冬月とむいづり月ツキ初月ハツキ初月ハツキ
東風解ツク蟄ツメ魚イサ求モトメ獺カサネ祭マツル魚イサ
鴻トウ鴈ガン來キ草木萌動ソウボクモウドウ
履端リブタン履端リブタン覆フク新元シンゲン三元サンゲン且カ三朝サンチョウ
歲且サイカ三始サンシ鷄トリ且カ新春シンシュン新年シンネン改春カイシュン
年頭ネントウ早ハヤ春ハル初ハツ空カラ初ハツ

初日ハツニチ初日ハツニチの出の出初鷄ハツトリ初代ハツダイ春ハル四方シヨウホウ春ハル
初日ハツニチ初日ハツニチの出の出初鷄ハツトリ初代ハツダイ春ハル四方シヨウホウ春ハル
明アカの春ハルふふははの春ハル初ハツ空カラ初ハツ
曆リキ用ヨウ初ハツ夏ナツ去ク今イマ年ネン旧キウ中チュウ
年ネン末マツ初ハツ冬フユ去ク今イマ年ネン旧キウ中チュウ

四方拜 星^ト唱^ハ入^ル布^ツ茶^ノ供^ト茶^ノ子^コ
屠^ト穫^ト白^ク散^ル度^ト嶂^ト散^ル椒^ト栢^ト酒^ト椒^ト酒^ト
椒^ト觴^ト朝^ト賀^ト小^ト朝^ト拜^ト奏^ト賀^ト奏^ト端^ト
元^ト日^ト節^ト會^ト諸^ト司^ト奏^ト七^ト曜^ト御^ト曆^ト冰^ト樣^ト
肢^ト赤^ト國^ト栢^ト奏^ト國^ト栢^ト笛^ト院^ト礼^ト齒^ト園^ト
漬^ト餅^トのち^トわ^トる^トみ^ト共^ト威^ト德^ト神^ト年^ト極^ト初^ト

志^ト方^ト架^ト祇^ト園^ト削^トる^ト神^ト事^ト昆^ト法^ト門^ト初^ト禮^ト經^ト
糸^ト多^ト比^ト頂^トの^ト神^ト栢^ト内^ト松^ト飾^トり^ト松^ト
飾^トり^ト竹^ト飾^ト繩^ト大^ト飾^ト飾^ト炭^ト飾^ト茶^ト
齒^ト糸^ト白^ト標^ト掛^ト鯛^ト伊^ト勢^ト海^ト老^ト飾^ト
糸^ト水^ト包^ト井^ト用^ト井^ト美^ト水^ト糸^ト水^ト桶^ト
年^ト男^ト大^ト糸^ト糸^ト飾^ト糸^ト黃^ト糸^ト糸^ト



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

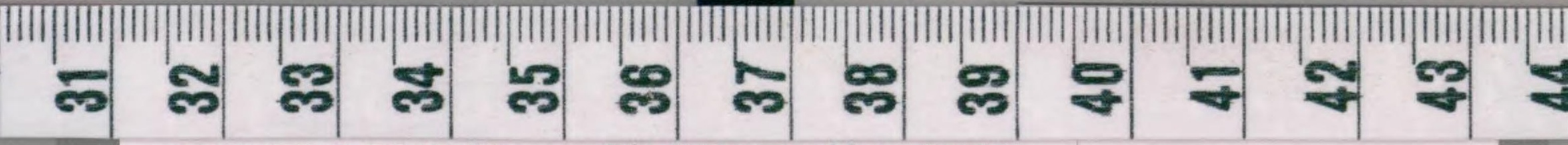
請求記号 特1-2779

ガラス使用

葵カキのハ花ハ入ハ芋頭カニのハ結ハ昆布カニのハ豆
 名ナのハ午房ゴハウ太ハ著ハ蓬菜ホワライ海ホタテ藻クラ魁クニ
 橋カキ栗クリ串クシ柳カキ梅ウメ干カニ橙ダイダイ柑カン子シ
 橋シ柚ユ野ノ老ロ年ネン玉ギョク庭テイ竈カマド福フク茶チャ
 田タ作サ押オシ粘ネリ玉ギョク庭テイ竈カマド福フク茶チャ
 迷メ坊ボウ袖スベ迷メ杖ジョウ玉ギョク坊ボウゆユらラくク

羽ハ根ネつツくク羽ハ子シ板イタ胡コ鬼キ板イタ遣ヤリ羽ハ子シ
 破ハ魔マ弓ユミ破ハ魔マ矢ヤ宝ホウ門モン福フク引キン
 藏クラ用ヨウ湯ユあアらラりリ馬ウマ筋スジあアらラりリ弾ダン初ハツ吹フキ初ハツ
 釋スツ初ハツ船フネ玉ギョク系ケイ初ハツ商ショウ初ハツ奏ソウ
 初ハツ笑ウツ店テンあアらラりリ三サン物モノ連レン歌カ

四二



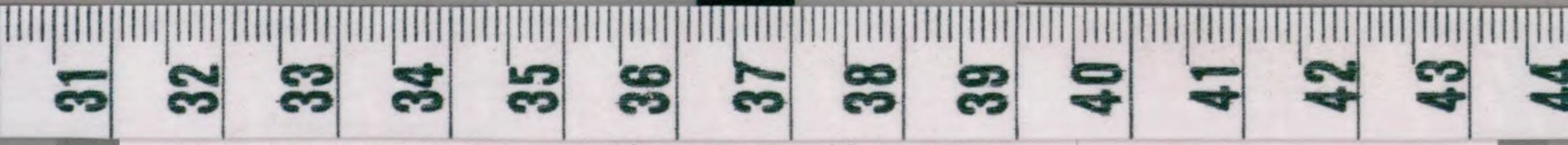
国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

物詐諸試筆 書初 吉書始
 試毫 松嘯 謡初 舞初 子茶方茶
 下万歳 春駒 多追 猿弓 奮奮
 傀儡師 初芝居 懸想之奏 桃符
 桃板 桃校 仙木 神茶 鬱壘
 畫鷄貼戸 葦索 如願 飛花灰

戴春燕 叔氣 俗ふ二ケ日の
 稲津い い孫あふ 節振お 節客
 節小神 初子日 子日松 子日狂ひ
 小松月 初寅 緘之 番おろし
 二宮大饗 朝覲行幸 臨時客
 愛宕寺天狗宴 裏白連歌同詐諸



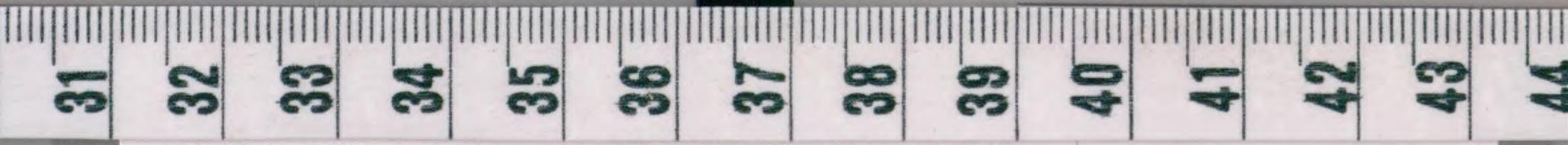
国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

鹿山三夜曉東寺舟護法四叙位
和州吉野
和州吉野七日青月人日白馬節會御弓奏
 人々西ノ戸ノ貼と菜摘の神事
 箕面富福ワ〜お菜初お菜
 子葉の水菜甘菜茗荷 磯菜法む
 るぐつむ お菜近菜はまあり

七種形藝藝者并々女四女叙位
 女王祿を賜ふ真言院御修法直人
 指太元師法西居籠西育燈子
西十日燈子西宮系常陸帶神事
 張肉四縣召除目諸國のち
住吉御弓四御齊會内論義



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

男踏歌 オトコフミウタ あはれなり アハレナリ かこ カコ け ケ ね ネ 郷 キョウ
 十日年越 細曳 ホソヒキ 三穂抄 サンホウシウ 左義長 サダヨシチカ
 爆竹 吉書上内 キチカミノウチ 注連の内 シヅメノウチ 松の内 マツノウチ
 五上元 花燈夕 ハナドウセキ 御薪 ミカドナ 粥の木 カウノキ
 小豆粥 萩 粥杖 カウカシ 平岡御粥 ヒラノカミカウ
 女踏歌 獅子頭神事 メウタウタ 伊勢 藝入 イセノウチ

舞御説 マヒノミト 賭弓 カウ 厄神 ヤクシ 糸番 イトバン
 萩民 将来符 ハギノミ 吉田清後 キヨハシラ 女笄 メナハ
 正月 廿日 ツキノヒ 廿日 ニニヒ 前 マエ 録 ロク 殿 テン
 天穿 テンセン 具足鏡割 クソクカミワリ 内宴 ウチノエン 御忌 ミヨシ
 十九日 ジュウクニヒ 卯杖 ウサギノカサ 御杖 ミヨウカサ 巖嶋祭 イワシマノマツル
 廿五日 ニニヒトケ 至 マデ 卯杖 ウサギノカサ 御杖 ミヨウカサ 巖嶋祭 イワシマノマツル
 外記 ソトキ 政始 セイジ 吉書奏 キチカミノウチ 立春 リシュン 綱 ツナ



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

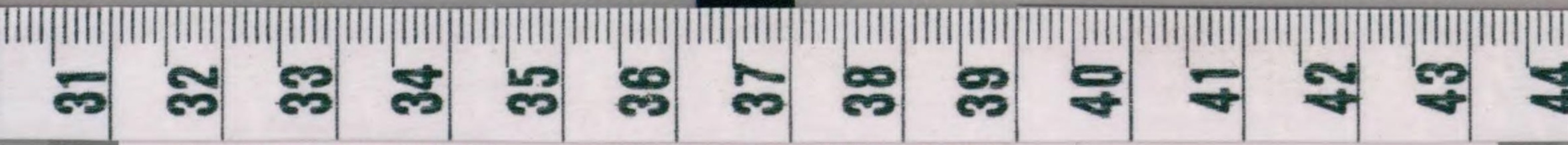
ガラス使用

雨水中 晴 晴 霞 カミ 夕の霞 霞袖
 衣八重 霞 霞 離朝霞 夕霞
 霞 川 霞 烟 霞 海 一 霞 横 霞
 錦 衣 心 霞 不 芳 カミ 洞 仙 洞 此
 隴 月 籠 影 春 の 月 春 風 東 風
 谷 風 光 風 和 風 條 風 微 風 暖 風

五十二

長 閑 ウツクシ うらぐら 暖 氣 ラウキヒ 逐 日 ナカキヒ 永 日
 ぬるむ ユヅラ 心 笑 ユヅラ 春 解 ユヅラ 春 消 の 水
 春 の 雪 春 の 雪 残 雪
 氷 解 ユヅラ 氷 の 融 氷 流 ユヅラ 春 寒
 春 水 ユヅラ 春 水 凍 入 ユヅラ 佐 保 娘
 春 水 陽 冷 ユヅラ 春 水 佐 保 娘

五十三



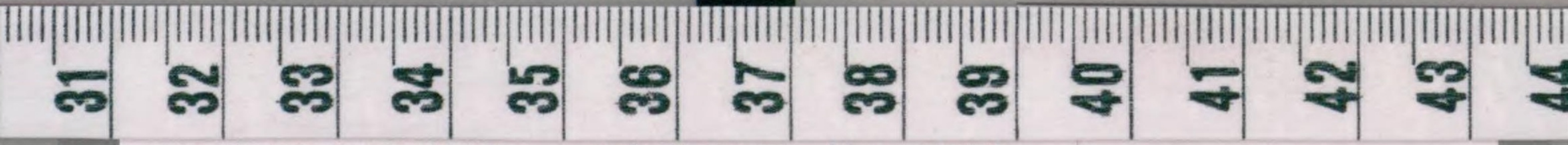
国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

柴川苔 蔦苔 起津苔 水前寺苔
 於胡苔 葛西苔 十六袴苔 絞皮苔
 海苔 海苔 紫苔 椶苔 淡州苔
 飯糰 蛤み 酢蛤 蜆身 規
 初附 附臈 青饅 干糰
 麦云雀 麦云雀 骨 麩胡 鱗鱗
 二二〇

春志々ぬ 麦ふりや 麦ふりぬ
 鶯 人未多 花目多 金衣鳥
 経心多 奇詠多 白ひ多 黄多
 鶯の琴 愛笛 百千多 果鳥
 鶯 琴引多 駒多 雉子
 白雉 妻多 人雉 麦云雀 麦云雀 笛
 五十三



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

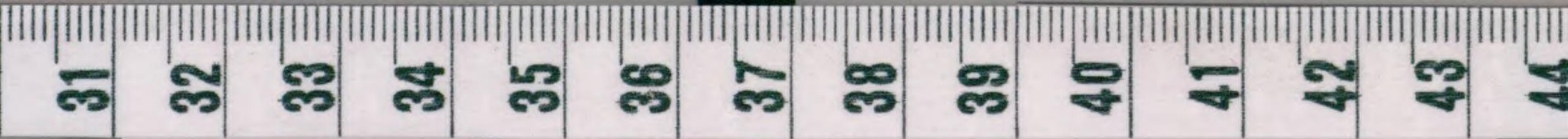
請求記号 特1-2779

ガラス使用

草若葉 木芽 木芽漬通 款冬花
 落の姑 芥 烟芥根 白草 水蘿 薑
 梅 白梅 萩梅 岩梅 溪梅
 野梅 岩梅 独梅 飛梅 けい花
 花兒 常宿梅 銀波梅 尋来梅
 綸旨梅 山梅 信濃梅 好文木

二葉苔 菊地苔 青苔 糸糸布
 糸糸布 山椒皮
 初庚申 初夏 福壽草 元日
 甘藷 芥 芥菜 水菜 菜 初州
 旧菜 糸糸 嫁菜 雞腸菜
 下崩 莖立 常菜 菠稜草

慶長よりくまて春三月よ
 には方敷之但し夕よよる



風見草川之竹 チヨコヤキ 氷楊 ハルスキ 春薄柳腰
 柳髮柳眉 瘤柳 コナ 目より柳肉の柳
 出口柳 松花 デグチ 十少 シヤウ の花 ハナ 乃松
 乃みより初みより シラウヲ 緑 キナ の ハナ 白奥 シラウヲ 刺目
 浅劑 アサキ 葩 ハセ 煎 ハセ 春 トシ 堂 マウ 嘯 テン 万壽 マンシュウ 樂 ラク
 春宮 ハルノミヤ 東宮 トウノミヤ 梅 ウメ の ハナ 入 イリ 吉柳 キチヤウ の ハナ

古梅 コウバイ 落梅 ラクバイ 外龍梅 ガイリウバイ 宮城梅 ミヤヤ
 淡香梅 タンカキ 常香梅 アツセツ 香梅 カハエ 香星 カシヨウ 香
 房梅 ヤツフサムツ 銀梅 ギンバイ 海棠梅 カハエ 香棠 カハエ 系
 香散 カハエ 風待 カハエ 春 ハル 香 カハエ 系 カハエ 梅壺 ウヅメ
 梅曆 ウヅメ 柳 ヤナギ 青柳 アヲヤナギ 川柳 カハエ 玉柳 タマヤナギ
 志 シ 柳 ヤナギ 白柳 シロヤナギ 川 カハエ 柳 ヤナギ 根水 ネミヅ 系 カハエ

五十五



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

二月 仲春 夾鐘律 如月 衣更衣

梅月 初花月 小草生月

月令 桃始華 倉庚鳴 鷹化為鳩

玄鳥至 雷乃發聲 始電

中和節 獻生子 唐書云唐武宗嘗食五穀

吉瑞錄配 出代 二月 災

行基系 昆 初年祭 廿新徒

十日 祇園御八講 比良八講

遺教經會 列見 二月堂行

水取 佛の別 涅槃會 祢えん像

去一佛 二月の別 名の果 録は焚

花供の 興福寺常樂會 嵯峨柱炬

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

暉春日祭暉大原系暉社翁雨
治コウ聾酒シユ夜シユ時シユ正シユ時シユ宗シユ踊シユ念佛シユ
季キ御ミ讀ク經キヤウ踏タツ哥カノ後コ宴エン駕カ墊チヤウ朔シヤク
春ハル分ブン中チュウ初ハツ雷ライ出シュツ初ハツ電デン紅ベニ梅ウメ未ミ開キ紅ベニ
籠カゴ梅ウメ杉キナ端ハタ梅ウメ豊トヨ後ノチ梅ウメ越コシ中ナカ梅ウメ
櫻オウ紅ベニ梅ウメ千チ葉エフ梅ウメ八ハチ重ジュウ梅ウメ坐ザ論ロン梅ウメ

暉積塔シツトウ暉圓宗寺エンシュウジ最勝會サイショウカイ日ニチ
貝寄風カイキヨウ法ホウ間カン祭サイ暉天王寺テンノウジ聖靈會セイレイカイ日ニチ
暉北野聖廟キタノセイバウ息セツ菜種御供サイチュウミツケ道明ドウメイ祭サイ
吉祥院キョウジヤウ八講ハクコウ八幡系ハチマンケイ初ハツ稻イナ荷カ系ケイ
東福寺トウフクジ懺ソウ法ホウ水スイ間カン祭サイ摩マ耶ヤ祭サイ律リツ
本明寺ホンメイジ觀カン音オン宿シュク州シュウ己キ午ヌ市シ暉釋シヤク奠テン

五十七

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

末黒薄耕 畑打 苗代 水口糸
 播種 種 麻 藍 蒔 獨活
 葱 姑 黒葱 姑 豆 葱 姑 松菜 杉菜
 土筆 茶 花 防風 蕨 早蕨
 鎌 蕨 狗脊 山葵 青葱
 川 昔 苦 昔 菘菜 蒲公英

黄梅 初花 初櫻 彼岸桜
 終谷桜 兒桜 糸桜 無枝海棠
 菜山桜 椿 白玉椿 玉椿 蜀椿
 飛入椿 伊勢椿 散椿
 接骨木 花 壓條 杆 挿 接木 燒野
 山と燒 芝と燒 萩燒 系 燒 也 芒

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

干葎ホシカマ大干カホ吉ヨ白カホ鳥カホ一カホ鳥カホ
 春雁ルカカ鳥カホ白尾カホ鳥カホ
 接尾キスヘトリ鳥カホ白居カホ鳥カホ佐保サホヒメ鳥カホ
 好符ナトカリ泊ナトカリ山ナトカリ鈴ス龍コ捕サス
 乙多オホタ同巢ドウカ野ノ古巢コカ巢立カネタテ燕ツバメ女メ鳥カホ
 乙多オホタ同巢ドウカ野ノ古巢コカ巢立カネタテ燕ツバメ女メ鳥カホ

鼓草ウツクサ狗杞コキ五加木ウツクサ號杖イダシ苦クのノ角ツノ
 角ツノ心ココロ芦アシ苦クのノ錐菜キリ菜ナのノ花ハナ大根ダイコン花ハナ
 薊アザミ鬼薊オニアザミ韭ニラ蒜ニンニク薑ショウ胡葱ゴウソウ
 嫩ニホ系ケイ菜サイ蔓マン括クツ蔓マン系ケイ水スイ苜モウ括クツ蔓マン
 草クサ芳ホウ系ケイ菜サイ嫩ニホ系ケイ菜サイ蔓マン括クツ蔓マン
 荻ヒ系ケイ菜サイ蓮根レンコン堀ホリ苜モウ括クツ蔓マン括クツ蔓マン



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

石の名残 今の一
 山名 松尾鳥
 雀 雀子
 百 蝶
 後 蟻
 蛙 土 雨 井 蟬
 土 雨 井 蟬
 蝶 蟻 蜂 蜂
 雀 雀子 蝶 胡蝶 鳳蝶
 松尾鳥 弓雀 鳳蝶
 今の一 雀 蝶 蟻 蜂 蜂

三月 季春 病月 竹秋 沽洗 律
 木 奴 中 帝 燒 米 繪
 馬 刀 王 助 臭 鮎 子 取 魚 寄 居 虫
 蠶 田 蝶 蟻 諸 子 魚 寄 居 虫
 蠶 田 蝶 蟻 諸 子 魚 寄 居 虫
 蠶 田 蝶 蟻 諸 子 魚 寄 居 虫



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

水尾系^{ミヅノオ} 旺^ウ 高雄^{タカオ} 法華會^{ホフケ} 安良花^{ヤスライ} 西賀^{セキカ}
今宮^{イマミヤ} 泉涌寺^{センユウジ} 後坊忌^{シノボク} 旺^ウ 吉野花會^{キコノハ} 式^{シキ}
旺^ウ 禮拜講^{レイキョウ} 天台^{テウタイ} 旺^ウ 善導忌^{ゼンドウキ} 壬生大念佛^{ニミフ}
十日^{ツカ} 旺^ウ 祇園^{ギエン} 一切講^{イツセキョウ} 比良^{ヒラ} 梅若系^{ウメニシカ}
益日^{トクニチ} 旺^ウ 大念佛^{オホニミフ} 九日^{クニチ} 勸學會^{カンガクカイ} 旺^ウ 人丸供^{ヒトマルクハ}
法系^{ホフケ} 旺^ウ 法系^{ホフケ} 釈迦^{シヤカ} 御身杖^{ミミノヅ} 旺^ウ 御影供^{ミカゲクハ}

仁和寺^{ニホノテ} 雄女^{ユメメ} 旺^ウ 寒食^{カンシヤク} 杏粥^{コノコ}
東^{トウ} 饅^{モウ} 青精飯^{セイセイハン} 桃花粥^{トウカシユ} 鞦韆戲^{ウツロヒ}
半仙戲^{ハンセンキ} 榆柳の火^{ユリウノヒ} 旺^ウ
旺^ウ 清水^{シメヅ} 臨時祭^{リンジシ} 南系^{ナンケイ} 稻荷御出^{イナリミデ} 小号^{コガウ}
順峯入^{ジュンポウイリ} 花鎮系^{ハナチンケイ} 一説^{イツセツ} 千本念佛^{センポンニミフ} 盛^{セイ}
十八夜^{ジッパヤ} 別^{ワケ} 清明^{セイメイ} 絹穀雨^{クヌカメ} 旺^ウ 中^{ナカ}

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

花 花盛 花曇 花錦 花雲
花若 花若吹 花腕 花浪 花鈴
花鳥 花笑 花顔 花姿 花肌
花粧 花唇 花舌 花葩 花宿
花窓 花扉 花声 花心 心花
花縁 花香 花影 花魂 花露

詞花 花衣 花袖 花杖 花皿
花形 花見 花筆 花生 花入
花瓶 花車 花見 花車 花笠
花代 花袖 花蔓 花空 花穂
花盃 花送 花心 花宴
花軍 花筵 花綺 花都 花踊

田代

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

花主 <small>ハナヌシ</small>	花守 <small>ハナモリ</small>	花園 <small>ハナヅミ</small>	花細 <small>ハナコ</small>
花嫁 <small>ハナヨメ</small>	花幕 <small>ハナカド</small>	雨花 <small>ウツクシ</small>	百花 <small>ヒャクカ</small>
栽花 <small>サヅケ</small>	賞花 <small>ウツクシ</small>	戴花 <small>カサネ</small>	花陰 <small>ハナカゲ</small>
櫻 <small>サクラ</small>	山櫻 <small>ヤマザクラ</small>	一重 <small>イツヘ</small>	八重 <small>ヤチヘ</small>
緋 <small>ヒ</small>	雲井 <small>クモイ</small>	布引 <small>フヅリ</small>	龍 <small>リウ</small>
江戸 <small>エド</small>	桐谷 <small>キナヤ</small>	泰山 <small>タイサン</small>	府君 <small>フクノ</small>
		楊 <small>ヤウ</small>	妃 <small>ヒ</small>
塩竈 <small>シホガ</small>	かむ <small>カム</small>	法 <small>ホウ</small>	英 <small>エイ</small>
虎尾 <small>コビ</small>	逆 <small>サカ</small>	子 <small>コ</small>	巾 <small>キン</small>
いせ <small>イセ</small>	珠 <small>ジュ</small>	香 <small>カウ</small>	賢 <small>ケン</small>
化 <small>カ</small>	名 <small>ナ</small>	茶 <small>チャ</small>	か <small>カ</small>
櫻田 <small>オウダ</small>	大 <small>オオ</small>	末 <small>スエ</small>	上 <small>ウヘ</small>

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

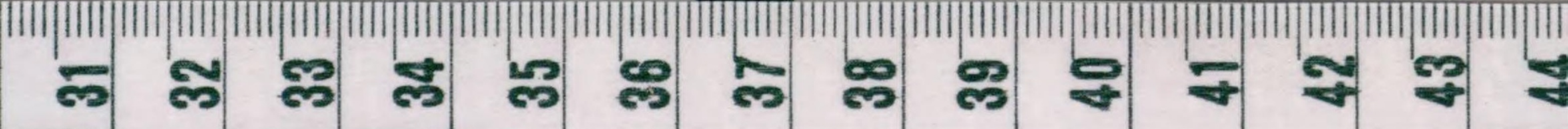
国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

松島はト 蓮蓬はト 倭法はト
 欵冬 井出山吹 辛夷 冬草
 木蓮 石南花 小绣球 於掛
 小栗花 蕨花 小梅花 樅花
 萍生初 李花 杏花 材檜花
 櫻桃花 東花 楊梅花 長春

桃花 緋桃 娘桃 源平桃
 三子代系 みさご系 碧桃 志り桃
 梨花 山梨の花 新のつばき
 海棠 萩花 木瓜花 躑躅
 若はト 娘はト 岡はト
 旁は躑躅 源平はト 白はト



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

馬齒莧	櫻菜	莖	土壺莖	芍薬
五形	菊	花	まきまき	菊
葶耳	菱	荷	笋	若蔣
柿の花	茶	拵	二月大根	葉柳
残花	青葉花	葉	櫻	弥生山
冬	冬	冬	冬	冬

化偷	春蘭	通草	後	沉
化偷	春蘭	通草	後	沉
化偷	春蘭	通草	後	沉
化偷	春蘭	通草	後	沉
化偷	春蘭	通草	後	沉

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

春湊 ハルナミ 復をた ヒキ 及を待 マツ 若春 ニホハル 春
 山吹衣 ヤマフキ 裏山吹 ウラヤマフキ 躑躅衣 ツツジ 水落花 ミヅノフキ
 呼子鳥 ヨコトリ 引残鶴 ヒキノヅク 椋 ハシ 小の コノ 初 ハツメ
 鷹巢 トビノネ 郭公巢 クワコノネ 鶉巢 チヌノネ 七鳥巢 シチトリノネ
 多繚 オホカサ 上魚梁 ウヘイサ 蠶 カイ 新菜指 ニホイサ
 櫻網 オウゴン 椋貝柳籠 ハシカヤナギカゴ 小結 コムスビ 結汲 ムスビヒ

三月盡 ハルノハナハ 惜春 オホシム
 夏 ナツ 朱明 シュメイ 昊天 コウテン 炎帝 エンテイ
 四月 シゲツキ 孟夏 メイカ 首夏 シュカ 初夏 ハツカ 巳月 ミツキ
 乾月 カンツキ 仲呂律 チュロリツ 花残月 ハナノツキ 深考 トコトバ 好月 コトツキ
 候 コト 蝼蝈鳴 ロウコウナリ 蚯蚓出 コウジツク 王瓜生 オウカナリ
 苦菜秀 クサイハナ 靡草死 ヒコクサシ



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

四

六

立夏四月 小満四月

朔更衣コロモカシ 白重シロカサ 卯花衣 夏羽織

袷アサ 綿ワタ 拔ヒキ 下帯ササオビ 青簾アヲスタシ 子コ 夏ナツ 旬ジユン

壬水司供水 筑ツク 六鍋ムツク 祭マツル 三山崎日使

水屋能ミヅウチノ 南都ミナト 四廣瀬龍田系

七擬階奏ニギハヤヒ 八灌佛浴カンブツヨク 佛生會

龍華會リウケエ 佛ブツ 花湯ハナユ 其水 五香水

戒ケイ 檀堂タンダウ 用張ヨウサウ 山ヤマ 花ハナ 拈ニッ 所ショ 雁ガン 鳩トビ 時入

山崎祭ヤマザキ 助タケ 清水地シメツ 主祭ヌシ 四伊勢神衣祭

當トコロ 練供養レンキョウ 五高野花供土塔會タカノハナキヨトウタ 寺テ

六千團子チヂミ 三井寺ミヅイ 七日光祭ニチカウ 和歌祭ワカ 紀キ

八稻荷祭イナリ 任吉卯祭ニギキ 大神祭オホカミ 大オホ

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

八瀬祭ハセノマツリ 山科祭ヤマノカノマツリ 多賀祭タガノマツリ 堅田祭ツルギノマツリ
 當麻祭タケノマツリ 杜本祭ツルギノマツリ 松尾祭マツノマツリ 當宗祭タケノマツリ
 梅宮祭ウメノミヤノマツリ 之世祭ノヨノマツリ 菅官祭スゲノミヤノマツリ 菅官祭スゲノミヤノマツリ
 坂本山王祭サカノヤマノミヤノマツリ 園白殿賀茂祭ノノシロノテマツリ 菅笠擔スゲノカサノカネ
 賀茂祭カモノマツリ 葵祭アオイノマツリ 御形日ミカゲノヒ 葵桂アオイノカヅチ
 諸鬘モロカツラ 只祭ヒナマツリ 神祭カミノマツリ 忌イミ

神取カミ 神カミ 中山祭ナカノヤマノマツリ 吉田祭ヨシダノマツリ
 向日明神祭ムカシノアカミノカミノマツリ 坂城祭サカキノマツリ 江州幡祭エノ州ノハタノマツリ
 手安天神祭テノヤノカミノマツリ 三枝祭サンエダノマツリ 矢數ヤブノマツリ
 松葉梅天マツノハノウメノテン 和清天ワキヨシノテン 酒煮サケノキ
 餘花ヨロヒナ 殘花ノボレヒナ 新樹ニギハヤヒ

新樹ニギハヤヒ 旧祭フルカノマツリ のお祭ノマツリ のやうノヤウ ふわノフワ くノク 美ノミ 一ノイチ 打ノウチ くらノクラ とノト 庭ノニワ 祭ノマツリ とノト せノセ くノク



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

夏木立 木草茂 木下衛 木晚
 椈實 卯花 若根卯木 若本卯木
 若目系 石朴花 桐の花 柑枝の花
 密柑 五年母 盧橘 橘とけしこもふあり
 金柑 冬 山菅花 桜桐花
 若世花 柿の花 山菅花 桜桐花
 若世花 柿の花 山菅花 桜桐花
 若世花 柿の花 山菅花 桜桐花

白丁花 要の花 藪橘 天蓼
 覆盆子 牡丹 富貴草
 世日系 深目系 名解料 若ひ系
 花玉 夜白系 芍薬 若ひ系
 牡丹 燕子花 白若花 常盤木系
 罌粟花 葵 錦葵 銭のひ



玉卷葛 玉卷芭蕉 籐 筍
篠子 苣荳 蓮 蓮のこゝろ
綿 菱 菱の秋風 麦 麦の秋風
麦 麦の秋風 麦の秋風 麦の秋風
杜鵑 郭公 杜宇 子規 蜀魂
不如帰 勸農 時多 皆代多

立葵 二冬 蜀葵 美人蕉
美人蕉 鷹爪 宝鐸花 胡蝶花
一葉 蕙 白及 風車花
涌 涌の断きしりの花 半蹄花
鴨 足 虎耳 石荷 石荷の花 菡萏花
茶 茶の葉 鶴 王孫花 須枯草

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

素^ナ園^コ 小^コ園^コ 汗^ア拭^ヒ 日^ヒ傘^カ 木^キ布^ヌ
 單^ヒ物^ト 汗^ア取^{トリ} 汗^ア拭^ヒ 日^ヒ傘^カ 編^ヒ笠^カ
 菅^イ笠^サ 新^イ目^メ笠^サ 塗^ニ土^ツ笠^サ 蓑^ミ 涼^ス 新^シ茶^チ
 的^ニ也^ニ 夜^ヨ 暑^{アツ} 涼^ス 新^シ茶^チ
 古^コ茶^チ 新^シ茶^チ 切^キ麦^マ 冷^ヒ麦^マ
 冷^ヒ汁^{ジュ} 者^ニ冷^ヒ 水^ミ 饅^マ 水^ミ 饅^マ 干^ヒ 饅^マ
 干^ヒ 饅^マ

鹿^シ袋^カ角^ク 鹿^シ茸^{キョウ} 扇^セ 扇^セ
 末^マ度^ド 中^チ谷^コ 扇^セ 扇^セ 扇^セ 扇^セ
 老^ラ考^{コウ} 蠶^カ繭^{キョウ} 繭^{キョウ} 蚕^サ 薄^{ハク} 枝^エ 蛙^ヱ
 初^{ハツ} 鱧^カ 生^シ 芥^{カイ} 子^コ 子^コ
 實^イ途^ト考^{コウ} 樗^シ考^{コウ} 心^{シン} 考^{コウ} 鳥^{トウ} 考^{コウ}
 老^ラ考^{コウ} 蠶^カ繭^{キョウ} 繭^{キョウ} 蚕^サ 薄^{ハク} 枝^エ 蛙^ヱ
 初^{ハツ} 鱧^カ 生^シ 芥^{カイ} 子^コ 子^コ
 實^イ途^ト考^{コウ} 樗^シ考^{コウ} 心^{シン} 考^{コウ} 鳥^{トウ} 考^{コウ}



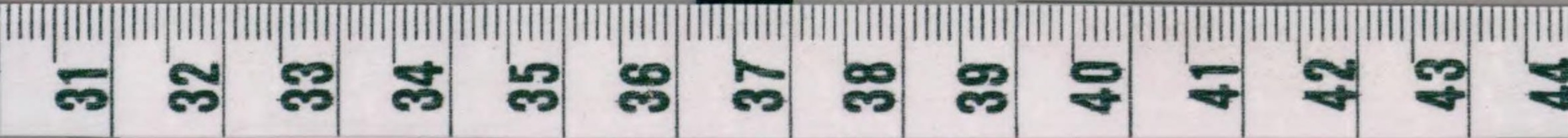
国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

地膚	翻	檉	飛	螢	蚤
青	山	繩	鼠	火	蛭
葱	椒	通	鴛	橋	世
馬	葱	一	鴛	橋	歌
菌	葱	鴛	鴛	橋	女
見	馬	青	劍	天	蠟
苦	菌	路	舟	嵐	牛
草	見	野			油
	草	路			地

蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	汗	魚
又	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	魚	魚
蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	魚	魚
蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	魚	魚
蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	魚	魚
蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	魚	魚
蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	魚	魚
蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	魚	魚
蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	魚	魚
蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	魚	魚



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

根草 葺 葺 菜 海羅干
 海松 夏籠 夏書 夏花 安居
 五月 仲夏 鶉月 皋月 薤賓
 榴月 小暑至 蟪蛄生 賜始鳴 反舌無声
 鹿角解 蟬始鳴 半夏生 木堇榮

芒種 夏至 芒種 夏至 芒種 夏至
 入梅 梅雨 微雨 梅の 墜栗花
 又月 黒 又月 黒 又月 黒
 晒 足揃 松糸 献 菖蒲
 菖蒲 菖蒲 菖蒲 菖蒲 菖蒲
 端午 重五 蒲節 艾節



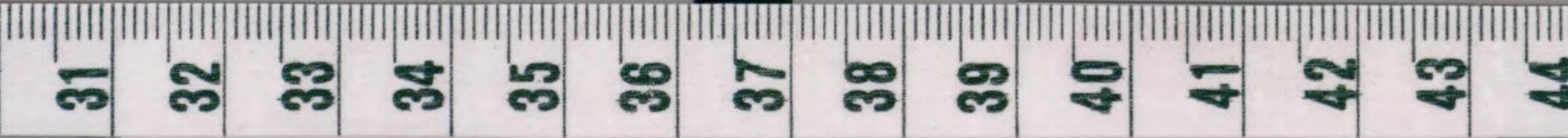
国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

印地打射粉團 桃印符 赤靈符
 浴蘭湯 泉美 泉灸 神水
 去鴿鷓古騎射馬 賀茂競馬
 藤社系伏見 常明神系所生 玉流鑄馬
 六日昔浦 旺宇治系 計竹植日
 竹醉日 竹迷日 室明神系州播

今宮系示 旺人分龍日 旺兩社祭
 坂 旺有無日 旺住吉御田御田植
 本 旺原志 御田扇 伊 虎が洞 雨
 旺祇園御奥洗 旺最勝講
 賑給 富士垢離 育音 草初祭
 鷺鷥者と入帷子 辻が花 田羅



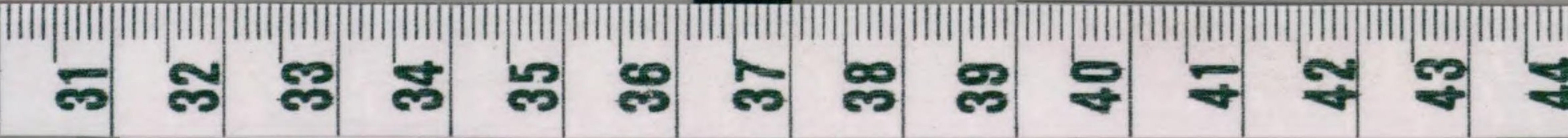
国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

今年竹 若竹 苗 早苗 田植
 早し女 田舎 早苗取 若苗 玉苗
 標花 雲見糸 榊花 栗花
 石榴花 合歡花 天南星
 山梔子花 杜鵑花 未央柳
 南天竺花 忍冬花 金銀 賤雀 麦

川原梅子 倭あそと 唐あそと
 鷲あそと 着梅子 石井 洛陽花
 ところあそと 百合花 鬼ゆり
 車ゆり 花多ゆり 麩ゆり
 袂ゆり 透ゆり 玉簪花 夏菊
 朝菊 紫陽花 四葩花 紅花



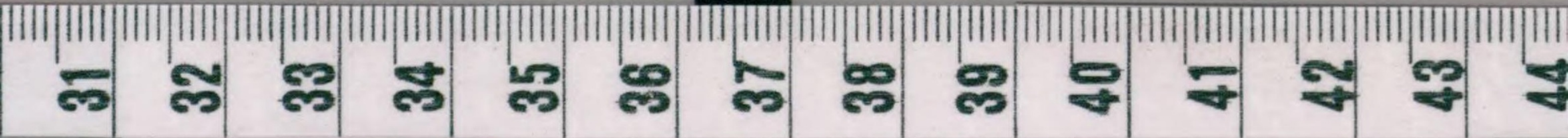
国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

花かつと 粟蒔 稗蒔 柎蒔
 胡麻蒔 豌豆引 蠶豆引 青梅
 餅梅 梅漬 梅干 梅作 杏子
 李子 枇杷 楊梅 生胡桃 栗實
 早松草 荒布蒔 和布蒔 越瓜
 胡瓜 揉瓜 茄子 白茄 長茄

赤指花 紅藍花 下毛花 繡線菊
 酒草花 菅草花 護草 忘憂草
 鐵線花 朝露草 莓花 玉柏
 肥葉何草 屋上小生草 蚊帳鈎草
 石藪 菖蒲 紫羅蘭花 藻蒔
 藻舟 藻花 萍花 真菰蒔



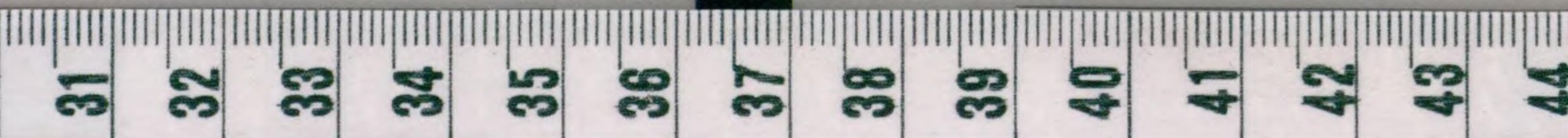
国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

三伏 土用 土用于 虫于 虫拂
 露涼 鴨涼 鶯涼 納涼
 避暑 風薫了 薰風 青嵐
 芒の峰 極暑 炎天 日成
 泉殿 龍殿 清水むよよ
 清水せく 清水汲 志の川がもや

井戸久 水掛合
 船揺る 川流 霍乱 夏瘡
 冰室 冰室所調 冰のおももの
 氷水めと 氷室名 氷室標 氷餅祝
 一夜酒 六月一日より七月 已心火御飯
 富士宮 六月一日より 勝曼系 西門の西北



晒六月會傳教文作晒祇園會七日
十日田原川祭七日より晒御射所ト
晒屏次系神今食晒解齋神粥
晒祇園會祭例熱田系津山系
晒江戸山王系竹生系祇園臨系
晒喜如定錢系如定系如定

晒依勢系礼十七日系博多系前晒
相國寺懺法志渡寺觀音會晒
晒糸系下鴨十九日より座頭系
晒鞍馬竹切晒御後系坂晒座六系
晒愛宕系十日晒天満御後系大
晒橋立系後晒住吉御後同火晒替

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

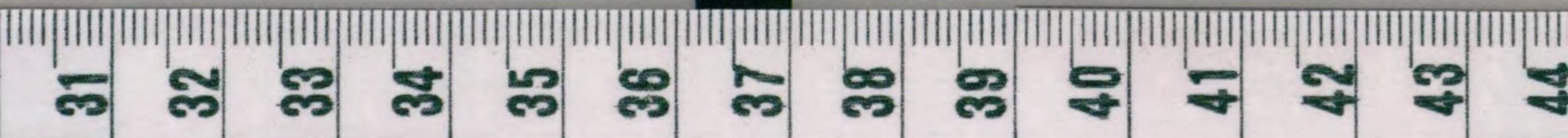
42

43

44

薰衣香 黒方 鏡釣 鯉釣
 海月取 瀧 四子 細撒 細縹 縹袴
 雲雀 子 火蛸 蝶 槽
 憚 諸 聲 殘 燭 毛 虫 竹 皮 脆
 百日紅 射干 麒麟草 蓮花
 荷花 水芙蓉 白蓮 紅蓮

賀茂六月能 唐崎急 節柳
 大後 茅滿 菅貫 形代 極物
 名越後 荒和後 麻葉流 後至
 小幡 声神 夏後 夕後 布後 川
 川社 友神 蔣枕 鎮火 糸
 道郷 祭 施 米 雷鳴陣 掛香



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

紙^{カミ}漉^シ糸^{イト} 綿^{ワタ}花^{ハナ} 蒲^{カマ}穂^ホ 田^タ糸^{イト} 取^{トル}
 青^{アヲ}田^タ 菡^ハ萏^{タン} 菅^ス花^{ハナ} 藍^{アイ}花^{ハナ} 白^{シロ}麻^マ花^{ハナ}
 麻^{アサ} 苧^オ麻^マ 檉^シ 苧^オ 苧^オ 夏^{ナツ}引^{ヒキ}糸^{イト}
 茗^{メイ}荷^カ 筍^{タケノコ} 青^{アヲ}番^{バン} 椒^{カズ} 大^{オホ}魚^{イサ}豆^{マメ} 十^{ジュウ}八^{ハチ}豆^{マメ}
 蒜^{ニンニク}根^ネ 青^{アヲ}鬼^キ灯^{トウ} 苜^{ヒユ} 葱^{ネギ} 元^{ゲン}豆^{マメ}
 紫^{ムラサキ} 藜^シ 海^{ウミ}藻^{ソウ} 鷄^{トリ}冠^{カ冠}菜^{サイ} 姬^{ヒメ}瓜^{ウリ}

齒^{ハシ} 瀟^{シウ} 沱^ト 見^ミ 州^{シュ} 露^ロ 信^{シン} 系^{ケイ} 水^{スイ} 堪^{カン} 系^{ケイ}
 花^{ハナ} 君^{キミ} 子^コ 蓮^{レン} の 糸^{イト} 根^ネ も 玄^{ゲン} 蓮^{レン} の 実^ミ 花^{ハナ}
 蓮^{レン} の 藕^{オウ} 根^ネ も 水^{スイ} の 飯^イ も 秋^{アキ} あり 冬^{フユ} あり
 鼓^カ 子^コ 花^{ハナ} 夕^{セキ} 顔^{ガン} 瓠^コ 花^{ハナ} 干^{カン} 瓢^{ピョウ} 剥^{ボク}
 新^{シン} 干^{カン} 瓢^{ピョウ} 凌^{レイ} 宵^{セウ} 花^{ハナ} 風^{フウ} 蘭^{ラン} 虎^コ 尾^ビ 草^{ソウ}
 眼^{ガン} 皮^ヒ 鷺^サ 州^{シュ} 鈎^{コウ} 藤^{トウ} 州^{シュ} 葛^カ 花^{ハナ}
 赤^{アカ} 系^{ケイ} 海^{ウミ} 龍^{リウ}



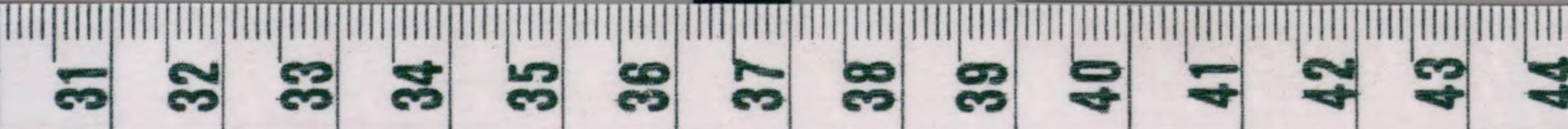
国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

引飯 葛水 醬油 林檎 韓瓜 乾瓜
 砂糖水 阿古陀瓜 水瓜 饅頭 金瓜 銀瓜 青瓜
 納豆 天 阿古陀瓜 阿古陀瓜 阿古陀瓜
 夏切茶 夏切茶 夏切茶 夏切茶 夏切茶
 夏切茶 夏切茶 夏切茶 夏切茶 夏切茶

仲臈 簞 抱籠 竹夫人
 夏切茶 夏切茶 夏切茶 夏切茶 夏切茶
 秋の隣 秋の隣 秋の隣 秋の隣 秋の隣
 少皞 帝 蓐收 神 白藏
 金商 明景 爽籟
 七月 孟秋 相月 蘭秋 夷則



三
月 女帝花月 七夕月 涼月
候 涼風至 白露降 寒蟬鳴
鷹乃祭鳥 天地始肅 登穀
立秋 處暑 中 初秋 早秋
肇秋 末秋 秋初 凡 初て涼
秋不涼 一葉柳散る

稻妻 稲のよの 初霜 二百十日
冷 爽氣 身入 残暑 火
花火 線香 煙花 扇置 團扇 捨
餞暑 施餞 鬼 盂蘭盆
接待 茶 洗車 雨 机 洗
濯 水 七夕 男 七夕 女 七夕



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

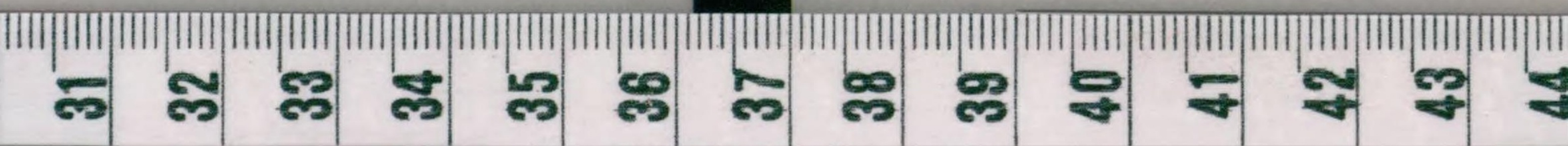
請求記号 特1-2779

ガラス使用

星交星夕 彦冠 牽牛織女
 星の交 二星 星合 星の糸向
 織娘。秋の娘さへに娘百子娘
 糸織娘の糸の娘 薫娘 梶の娘
 鳥籠橋 紅葉橋 二星登形

 〇は下より上へ下は上へ
 夕の娘とていふ秋去衣
 天川 銀河

乞巧奠 索餅 七箇池 百箇池
 妻女送舟 願系 星薫 庭立琴
 梶葉 芋の葉巻 乞巧針
 飛鳥井 鞠池坊立花 本願寺籠花
 七日御節供 文殊會 六道系
 逢流 植葵 清水千日流 盆布



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

木瓜子 槐花 淡梅 淡取
 蓮子飛 刀豆 夕顔 實貝 青瓢草
 棗 西瓜 粟穂 稻葉 雲 稻花
 富草 花 早稻 室のえり 早稲 蚕
 蟋蟀 猫 春 冬 虫 斯 冬 虫 松 虫
 鈴虫 鑢虫 蜘蛛 蜘蛛 蛸 蛸 蜂 蜂

仙翁花 親善州 弟切茶 鳳仙花
 盜母州 施度花 野菊 萩
 さしれ萩 萩の上風 萩 萩
 下萩 鬱金花 茗荷花 灸花
 曼珠沙花 石蒜 薏苡仁 蒲萄
 紫葛 常山花 木槿 桃子



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

蜻蛉 秋津虫 残蚊 秋胡蝶

巴下秋月ふ

龍田娘 律調 千秋樂

霧 旁芭 旁海 旁立人

旁の香 旁雨 旁よみて 船旁

夕旁 狗の旁。露 白旁

うらな 霧をたに 波の霧 霧を

霧散る 霧消る 木の霧 神の霧

枉 椎柴 椎葉 薄 霧芒

鬼房 糸房 霧房 霧芒 霧芒

族芒 十寸穂薄 真穂宇房

一斗房 葛葉 真葛 雲の房

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

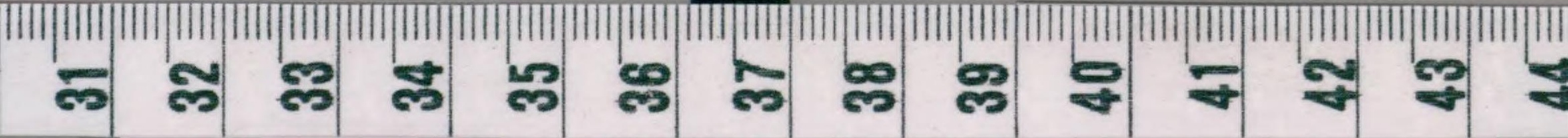
国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

蓮芋 螺芋 蔓菁 佛堂菜
 茨獨 零餓子 琉球蔓 蔘
 梨 水梨 園梨 空閑梨 鹿梨
 生浦梨 伊勢梨 妻梨 縮
 縮干 縮板 縮舟 縮苳 田色
 田磨 小田守 案山子 僧都 保水

葛 錦芋 薺 薺 定家
 花壇 翠花 珍の花 丹度系
 芭蕉 鶏頭花 秀来紅 茅世
 痛刀系 犬子 鬼灯 糸煙系
 番椒 絲瓜 南瓜 冬瓜 薑
 午房 芋 芋魁 紫芋 青芋



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

葉月 はふづきの 月

候 ト 鴻雁来 ツツ 玄鳥歸 ル 群鳥養羞 ツ

雷始収声 テ 蟄虫坏户 ス 水始涸 テ

白露 ハ 秋分 ハ 中 ハ

朔 ハ 八朔 田 繪行器 ホ 綵雀 ツ

天中節 ニ 村系 ニ 湯天神系

自髭開帳 ハ 敦賀系 ハ 司吉

待宵 ハ 小正月 ハ 名月 ハ 冬月

今宵の月 草名月 冬月 冬月

月見 十五夜 二五夜 初月 中秋

端正月

月 月の霜 月の雪 月の氷

乙

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

月氷ル 月の桂ツキ 照月テ 次ツ 弦月ツキ
 朧魄ツキ 二月ニ 月ツキ 弓ツキ 月ツキ 舟ツキ
 月の鬼ツキ 有明ツキ 哉生ツキ 明ツキ 既ツキ 在ツキ
 哉生魄ツキ 立ツキ 月ツキ 夜ツキ 既生魄ツキ 上ツキ
 居ツキ 月ツキ 夜ツキ 外ツキ 竹ツキ 月ツキ 夜ツキ 廿ツキ 日ツキ 亥ツキ 中ツキ
 真ツキ 夜ツキ 中ツキ 夜ツキ 常ツキ 嫁ツキ 孟ツキ のツキ 叙ツキ 挂ツキ 男ツキ

月の角ツキ 月の劔ツキ 月の友ツキ 月ツキ とツキ 友ツキ
 月ツキ とツキ のツキ 下ツキ 月ツキ のツキ 主ツキ 月ツキ のツキ 眉ツキ
 八幡ツキ おツキ 放生ツキ 會ツキ 鶴ツキ 岡ツキ 宇ツキ 依ツキ 相ツキ 崎ツキ
 伊ツキ 勢ツキ 津ツキ 八ツキ 幡ツキ 長ツキ 門ツキ 豊ツキ 浦ツキ 野ツキ 口ツキ 念ツキ 佛ツキ 播ツキ 州ツキ 加ツキ 古ツキ
 伊ツキ 勢ツキ 津ツキ 八ツキ 幡ツキ 長ツキ 門ツキ 豊ツキ 浦ツキ 野ツキ 口ツキ 念ツキ 佛ツキ 播ツキ 州ツキ 加ツキ 古ツキ
 同ツキ 十ツキ 六ツキ 夜ツキ 駒ツキ 牽ツキ 駒ツキ 迹ツキ 旁ツキ 系ツキ 駒ツキ
 本ツキ 月ツキ のツキ 約ツキ 菅ツキ 太ツキ 長ツキ 糸ツキ 御ツキ 霊ツキ 祭ツキ

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

母山色 牡丹の根分 木芙蓉
 茅芙蓉 木屋 桂花 梅嫌
 樓紅 金剛草 檀特花 紅蕉
 紫系 白粉花 鳥頭 荊萱
 紫苑 露茶 月州 宇治花園
 薄の穂 尾花 龍膽 漆花

東名系 西院系
 釋奠 秋社 秋宮 後彼岸
 死活杖祭 死罪の者たあは社に建ておまの
 毎年八月より日定り
 初汐 野分 暴風 漸寒 碓
 擣衣 四の打 綾巻 長夜
 初紅葉 薄の系 敷荷 名木ちる



椎茸 シイタケ 蕨茸 ワケシ 針茸 ハリ 棕茸 ムク
 櫻茸 エビキ 滑標莖 ナメス、キ 平茸 ヒラタケ 土菌 ツチヒラ 菌 キノコ
 羊肚菜 イシタケ 紅茸 ベニ 桑茸 クワ 鬼蓋 キツ子
 石茸 イハタケ 初茸 ハツ 松露 シヤウロ 天狗茸 テン
 月夜茸 ツキヨ 革茸 カウ 濕地系 シメダキ 茸狩 タケカ
 毛見中綿 ナカテ 藻穂 オチホ 縮巾 イナヅカ 穂掛 ホカケ

天瓜 カキ 種瓢 タネフク 竹離豆 カキマメ 甘藷丸 ヒシトル 松茸 マツタケ
 銀杏實 キナノミ 苗香實 ウイキヤウノミ 苦苣支 ククシ 通草 アゲヒ
 藥極 ヤクキョク 茵陳 インヂン 茵陳 インヂン 芫花 ワカハ 柘榴 ザシロ
 木賊刈 トクサ 茵極 インキョク 苦參 クサン 胡荽連引 コウスイ
 蕨の穂 ワケノホ 蒼朮 ソウジツ 蘆花 アシノハ 芦花 アシノハ 芥の穂 カイノホ
 芙蓉 ワフス 燧花 タビ 藍花 アイノ 蓼花 タテ

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

八束穂	粟櫃引	芥子前	芥菜前	大根前	小菜	猪菜	旬菜	中拔大根	厚	江	转	版班	厚	〇	厚	書	一	の	陳	白厚	海厚	旅厚	燕帰
<small>カラス</small>	<small>アハ</small>	<small>ナ</small>	<small>カラス</small>	<small>ナ</small>	<small>コ</small>	<small>ツ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ナ</small>	<small>カ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ナ</small>	<small>カ</small>	<small>カ</small>	<small>カ</small>	<small>カ</small>	<small>カ</small>	<small>カ</small>	<small>カ</small>	<small>カ</small>	<small>カ</small>	<small>カ</small>	<small>カ</small>	<small>カ</small>
八束穂	粟櫃引	芥子前	芥菜前	大根前	小菜	猪菜	旬菜	中拔大根	厚	江	转	版班	厚	〇	厚	書	一	の	陳	白厚	海厚	旅厚	燕帰

稲負鳥	朝多波	小をり	色を	鷗	小雀	山雀	四十	五十	の	排	の	〇	チ	ト	カ	ホ	ア	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ
<small>イナ</small>	<small>ヒ</small>	<small>コ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ヒ</small>	<small>コ</small>	<small>コ</small>	<small>コ</small>	<small>コ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ヒ</small>	<small>ヒ</small>	
稲負鳥	朝多波	小をり	色を	鷗	小雀	山雀	四十	五十	の	排	の	〇	チ	ト	カ	ホ	ア	カ	カ	カ	カ	カ	カ	

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

初ハジメ鮭サケ 緬ヒラニ 江アサヒ 桂ケイ 河カ 鹿シカ 大オホ 刀チ 魚ウヲ
 淡サヒ 粘アヒ 落オチ 粘ネ 下クダ 築タリ 鯉ヒレ 蛇ヘビ 入イ 穴アナ
 新アラハ 酒ハシ 走シ 中ナカ 汲ク 涪モロ 碓ド 礮ヒ 漉ロシ
 九月 季秋 玄月 素秋 無射 律
 晚秋 菊月 長月 白露月
 社ヤシ 小田月 小田月

候キ 鴻トウ 鴈ガン 来キ 賓ヒン 爵ス 入イ 大オホ 水ミヅ 為ナリ 蛤カキ
 菊キク 有ア 黄ワウ 華カ 豺シ 乃ニ 祭マツル 獸ノ 草クサ 木キ 黄ワウ 落ラク
 蟄シメ 虫ムシ 咸セン 俯フ
 寒サムイ 露ツキ 霜シロ 降フ 九ク 月ツキ 中ナカ
 御ミ 灯トウ 三ミ 月ツキ 小コ 田タ 不フ 堪カン 田タ 奏ソウ
 桂ケイ 官カン 相ソウ 揆ケイ 泉セン 涌ユ 寺ジ 舍セ 利リ 會エ
 眈ト 眈ト



重陽 重九 重陽宴 菊花宴
菊翁勺 栗佳節 登高 菊酒
菊瓶 茱萸袋 九月小袖 後雛
菊着袴 海羸廻 醍醐系あり
御香宮系見鞍馬系生王系大
貴布祢系時後日菊四宮系津

下考形系時例幣六孫王系大通
太秦牛系ウツマウシ津コナシ雞モトの日蓮上人
後三の月十二夜豆名月ナゴの名残ナゴ
住吉寶市相模白川系時
天王寺一系今岩倉系少倉系豊
園清系一宮系州神田明神祭所



椶ソウおオ糸イ 苧ソウおオ糸イ 仙セン蓼リョウ 鴨カモ上ウ戸ド
 南ナン天テン實ジツ 嬰オウ子シ 桐トウ實ジツ 皂ソウ角カク 菩ポ提テイ子シ
 木モ患ケン子シ 木モ欒ラク子シ 檳ヒン榔ラウ 榎エ實ジツ
 杼シュ實ジツ 老ラウ母モ系ケイ實ジツ 梅メイ檀タン實ジツ
 桐トウ油ユ實ジツ 榘ケイ實ジツ 榘ケイ實ジツ 栗リ 紫シ 藥ヤク
 柿シ 栗リ 藥ヤク 燒ヤキ 栗リ 藥ヤク

猩キョウ々ン菊キク 獲ハク我ガ菊キク 金キン英エイ 百ヒャク菊キク
 菊キク園エン 花ハナ隱イン逸イツ 十ジュウ日ジツ菊キク 殘ザン菊キク
 紅コウ葉エフ 在ザイ心シン 色シキ赤セキ 散サン了リョウ
 心シン 紅コウ葉エフ 在ザイ心シン 色シキ赤セキ 散サン了リョウ
 紅コウ葉エフ 衣イ 小コウ糸イ 土ド罌キョウ 白ハク膠キョウ 木モ 楸キョウ
 吾ワ亦エ紅コウ 楸キョウ 小コウ糸イ 木モ 楸キョウ

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

蜜柑 楤棒 烏柳 漆搔
 色不変松 山猪野錦 裏枯
 枯葉の意 薄ちる 枯尾花
 破るを以て 芦の枝葉 豆引 落し水
 蕎麦苧 新蕎麦 蓬縮 晚縮
 稻孫田 霜踏鹿 露霜 露時雨

落粟。柳 木練柳 沔所柳
 熟柳 烘柳 酥柳 胡盧柳
 白柳 香柳 君選子 柳 餅
 榛 標 無花果 椎 固栗
 瓢樹 新櫃 新胡桃 新松子
 水木 茶更 佛手柑 玄別橋

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

尾越鴨 紅糸糸綯 山ぬ奥篠
綱代お 番綿 番船 九月盡
秋のて 著の秋 秋の別
秋の名残 秋の限 秋の惜 秋の別
秋の湊 冬ちりた 冬ちりた
冬ちりた

冬、 玄英 顓頊 帝 玄冥 神 應鐘 律

律檀羽音上天

十月 初冬 孟冬 秦正 玄冬

小春 初月 初霜月 神每月

候 水始凍 地始凍 雉入大水為蜃

虹藏不見 天氣上騰 地氣下降

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

閉塞而成冬ト。立冬十月小雪十月
 朔冬の更衣コモカヘ孟冬ノ旬ノ神送カミヲクハ
 食糶糟シヤウラウラ拜憤ハイフン進燼シユン炭ロクタン燼ロヒラキ角カク
 煖燼會ワマンカイ咳カエ玄猪ソウイノ祝イヒ御巖重ミイノ
 御玄猪ミソウイノ亥子イノ録コク射場シヤバ始ハジメ殘サシ雨アメ宴ユキ
 達タチ人ヒト忌イミ六ム十夜トクノ夜ヨ興キヨウ福寺フクジ法華會ホフケカウ

十トウ維摩會イモカウ金毘羅祭キンピラサマヒ御影供ミカゲクハ
 日蓮ニチレン下元ゲゲン水官スイクワン解厄ゲイアク聖一忌セイイツキ
 東福トウフク世セ目メ蛭子ヒルコ講コウ誓言セイヤン文拂モンハク盃スベ
 法勝寺ホウショウジ大系ダイケイ今イマ廿八日ニヤハチノヒ中ナカ大社神事オホジヤカミノカミ
 神集カミツク神在カミイニシ神守カミノル神送カミムカヒ
 御取ミトリ取トリ親オヤ聖人セイジン忌イミ梅尾虫ウメオシムシ供養クヨウ



茶口切。時雨。初レぐれレ村レぐれ
 夕レ時レ多レ斤レ色レ山レ岩レのレ時レ多レ松レ樹レ時レ多
 袖レぐれレ雨レぐれレ液レ雨レ樹レぐれ
 志レ時レ多レ江レのレほレて。初レ者レ初レ者レ清レ
 初レ者レ目レ多レ系レ。初レ者レ初レ者レ清レ初レ者レ清レ
 霜レ劍レ霜レ柱レ霜レのレ花レ青レ女レ

青天玉女とて。初レ水レ初レ氷レ解レ木レ枯レ
 若レ者レとレ主レとレ。初レ水レ初レ氷レ解レ木レ枯レ
 大レ芸レ花レ寒レのレ菊レ冬レ牡丹レ
 山茶花レ寒レのレ菊レ冬レ牡丹レ山茶花レ
 山茶花レ寒レのレ菊レ冬レ牡丹レ山茶花レ
 山茶花レ寒レのレ菊レ冬レ牡丹レ山茶花レ
 山茶花レ寒レのレ菊レ冬レ牡丹レ山茶花レ
 散レ紅レ葉レ名レ多レ枯レ秋レ秋レ葉レ菊レのレ
 散レ紅レ葉レ名レ多レ枯レ秋レ秋レ葉レ菊レのレ

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

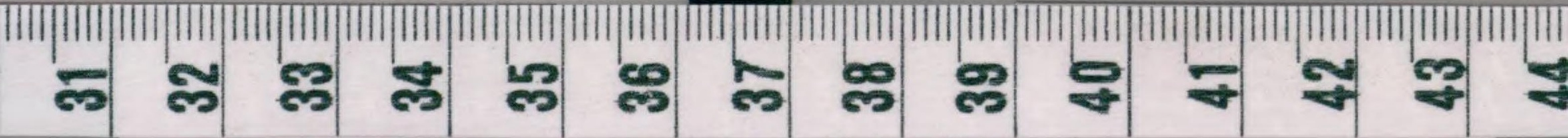
国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

寒^{カガシ} 蕪^{カガシ} 大根^{カガシ} 胡蘿蔔^{カガシ} 葱^{カガシ}
 苧^{クマ} 漬^{クマ} 切^キ 干^ヒ 葉^バ 沟^{ツル} 枯^カ 芦^{アシ}
 枯^カ 柳^{ヤナギ} 木^キ 葉^ハ 木^キ 葉^ハ 雨^{アメ}
 朽^ク 葉^ハ 木^キ 葉^ハ 衣^イ 枯^カ 丹^ニ 々^々 丹^ニ
 鶴^カ 兄^コ 鶴^カ 雀^カ 鶴^カ 帝^カ 鶴^カ

紙^{カミ} 子^コ 蒲^フ 團^{ダン} 懷^ク 爐^ロ 火^ヒ 燧^ク 火^ヒ 燧^ク 火^ヒ 燧^ク
 賣^{バイ} 炭^{タン} 翁^{ウウ} 精^{セイ} 助^{ジュ} 炭^{タン} 頭^{トウ}
 輪^{リン} 炭^{タン} 廻^ヘ 炭^{タン} 炭^{タン} 頭^{トウ}
 火^ヒ 燧^ク 火^ヒ 燧^ク 手^テ 燧^ク 手^テ 燧^ク
 湯^{トウ} 婆^ハ 埋^メ 火^ヒ 袋^{フクロ} 足^{タビ} 袋^{フクロ} 足^{タビ} 袋^{フクロ}
 紙^{カミ} 子^コ 絲^シ 衣^イ 胼^ヘ 駝^カ 水^{スイ} 漬^シ
 蒲^フ 團^{ダン} 頭^{トウ} 巾^{キン} 足^{タビ} 袋^{フクロ} 絲^シ 帽^{ボウ} 子^シ
 懷^ク 爐^ロ 火^ヒ 燧^ク 湯^{トウ} 婆^ハ 埋^メ 火^ヒ 袋^{フクロ} 足^{タビ} 袋^{フクロ} 足^{タビ} 袋^{フクロ}
 賣^{バイ} 炭^{タン} 翁^{ウウ} 精^{セイ} 助^{ジュ} 炭^{タン} 頭^{トウ}
 輪^{リン} 炭^{タン} 廻^ヘ 炭^{タン} 炭^{タン} 頭^{トウ}
 火^ヒ 燧^ク 火^ヒ 燧^ク 手^テ 燧^ク 手^テ 燧^ク
 湯^{トウ} 婆^ハ 埋^メ 火^ヒ 袋^{フクロ} 足^{タビ} 袋^{フクロ} 足^{タビ} 袋^{フクロ}



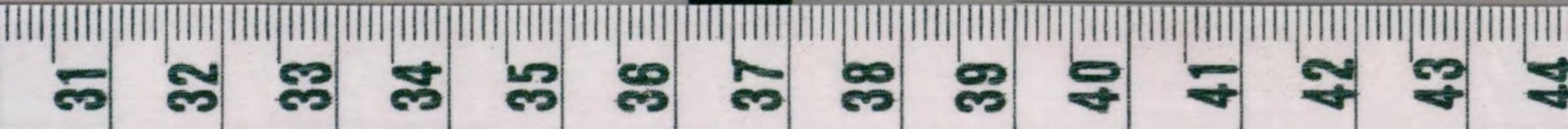
国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

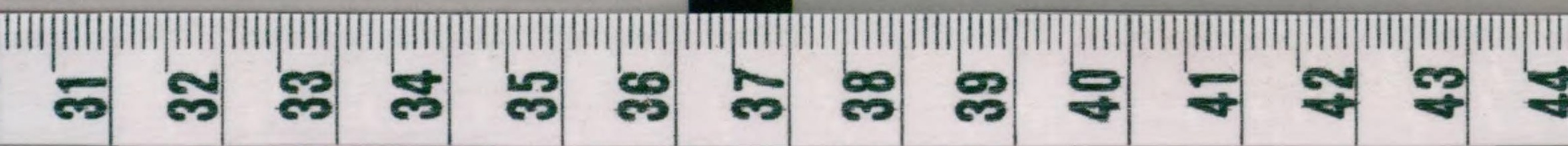
鳥考考考の抄子寝考。○ 子考
 類考考考の抄子寝考。○ 子考
 樹の和字之村考考考 孫考考 浦考
 百葉山の乳考考 夕波考考 崎考考 濱考考
 小夜考考 友考考 友考考 子考考
 郡考考 氷魚考考 氷魚使考考 柴漬考考
 細代考考 細代人考考 竹筍考考

集考考 角考考 鰐考考 鰐考考 追考考
 考考 偷起考考 考考 考考 考考
 加考考 暖考考 考考 考考 考考
 列考考 考考 杖考考 杖考考
 考考 考考 考考 考考 考考
 考考 直鳥考考 黒鳥考考 水考考
 考考 考考 考考 考考 考考



夜興ヨコヒキ 生海ナシ 魚イサ 金海キン 魚イサ 鱈タラ
 鯨突クジラツク 一銛突イチセンツク 初鯨ハツクジ
 絲イト 豚イノチ 西施乳セシヤウ 蛭カマキ 石イシ
 宇ウ 豆マメ 女メ 紗サ 杉スギ 燒ヤキ 鍋ナベ 燒ヤキ
 納豆汁ナットウジュ 蕎麥湯ソウメイトウ 生薑酒シヤウガサケ
 鶯印酒ウヰコサケ 綿ワタ 産ウツ 綿ワタ 綿打ワタウチ

攪車カキウラ 綿ワタ 插ツク 筵ハシ 綿ワタ 臑ナ 綿ワタ
 刺サシ 綿ワタ 冬フユ 日ヒ 後ノチ 日ヒ 冬フユ 夜ヨ
 冬フユ 曉アカサキ 冬フユ の 雲クモ 冬フユ の 風カゼ 冬フユ の 籠カゴ
 冬フユ 接ツグ 北窓キタマド と 閉トジル
 十月ジュウグツ 仲冬チュウトウ 鴨月カモツキ 周正シュウセイ 應鐘オウショウ 律リツ
 霜月スヨウツキ 若見月ニギミツキ 祢乐月ネガクツキ



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

候モ鷓シ且リ不ク鳴ル 虎始交カ 荔シ挺出ツ

蚯蚓結ル 麋角解ル 水泉動ク

大雪十二月 冬至十一月

至冬朔且冬至一陽嘉節添宮 綠ラ

一陽來復献履 履履 赤豆粥赤豆

渾天儀冬至 梅梅

朔曆奏八 吹鞞系 稻荷火 燒燒

新王津火 燒燒 空也忌 忌忌

髮置袴 袴袴 被初道 祖神系

天王御 佛事報 恩講講 掛掛 多多 月月

大師講天 台台 智者者 挂挂 多多 南南

春日御祭後 日日 挂挂 宇賀系



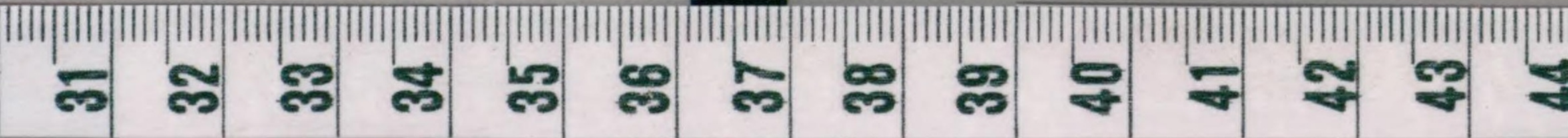
国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

三^三河^河西^西市^市伊^伊豆^豆加^加茂^茂臨^臨時^時お^おふ
 下^下東^東二^二條^條御^御神^神樂^樂子^子燒^燒ん^ん賣^賣里^里神^神樂^樂夜^夜神^神樂^樂
 小^小忌^忌衣^衣日^日蔭^蔭系^系日^日蔭^蔭の^の蔓^蔓
 心^心葉^葉神^神樂^樂の^の神^神樂^樂の^の庭^庭燎^燎
 採^採也^也の^の林^林幣^幣杖^杖篠^篠子^子釵^釵抄^抄
 片^片お^お諸^諸奉^奉葛^葛

山^山神^神系^系相^相掌^掌系^系宗^宗像^像系^系系^系
 上^上山^山科^科系^系申^申上^上平^平孫^孫系^系杜^杜本^本系^系當^當系^系
 申^申率^率川^川系^系子^子申^申大^大系^系世^世系^系申^申園^園韓^韓神^神系^系
 申^申大^大堂^堂會^會新^新堂^堂會^會老^老女^女御^御説^説
 申^申豐^豐明^明節^節會^會申^申日^日吉^吉臨^臨時^時系^系
 申^申節^節帳^帳臺^臺試^試申^申殿^殿上^上割^割醉^醉鎮^鎮魂^魂系^系



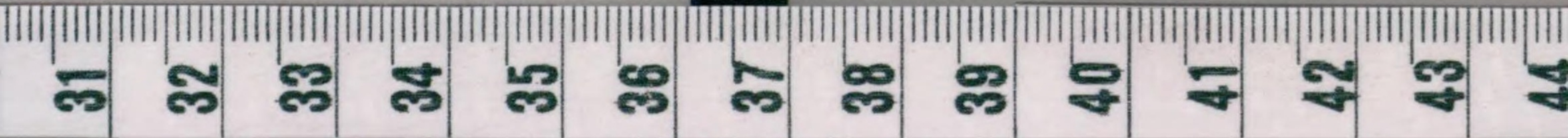
国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

朔 乙子朔日 乙子餅 忌日御飯
 三 御國忌 天皇 臘八 温臈粥
 十 御體御上奏 神今食 六月
 月 系 正月事始 荷前使
 五 最勝寺灌頂 御佛名 廿一日
 廿 け 糸 柏梨勸盃 奉ル

十二月 季冬 殷正 霜蟾 大呂律
 淵年 窮月 臘月 第月 三冬月
 梅初月 正月 雁北郷 鵲始巢 雉催 雞乳
 征鳥 厲疾 水澤腹堅
 小寒 十二月 大寒 十二月



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

鬼オニ外ソト福フク内ウチ ぶりりの頭カシラと排サ
 櫛シの頭カシラ 又條テ天神ニ系イ勝餅シキヤク 白シラ末マ
 寶舟タカラフネ 吉田オホノ大ニ後ヒ 厄ヤク落ヲ 厄ヤク排ヒ
 大系オホノ雜サ喉コ度ノ 枕マクラ 貌シヨと圖ヅ 年トシ越コ坊ボウ
 寒カン寒カンの入カ 寒カン垢コ離リ
 念ネン佛ブツを聲コエ 送ツクリ 送ツクリ 吟ウタヒ

大德寺ダイタクジ 園山エンサン 忌イミ 大オホ灯トウ 州シウ 齊宮サイミヤ 繪馬エウマ 掛ケ
 和布ワフ 蒞カ 神事カミコト 長門ナガト 追ツイ 儼イ 鬼オニ やらひ
 小コ やらひオニ 夜ヨ ふオニ やらひオニ 夢ユメ 桃モモ 弓ユミ 芦アシ 矢ヤ
 大神オホノカミ 祭マツリ 大和オホノニ 論ロ 神カミ 午ウマ 下シモ 御ミ 髮カミ 上ウヘ 奠マケ
 立タテ 年トシ 童コ 子コ 像ゾウ 撰セン 著シヨ 駈カ 政シヨウ 節セツ 分ブン
 内侍ウチノシ 所トコロ 御ミ 神カミ 樂ガク 系ケイ 法ホウ 校コウ 賞シヨウ 爆バク 豆トウ



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

節季掛取 年の市 ゆつり 葉ふかき 葉
のやくも 葉 臘日 子シナリツレ 年内立春 歳申立春
年使柳葉 閏見 三冬盡 小晦日 オホツモリ 大晦日
 除夜 オホトシ 大歳 オホトシ 分歳 オホトシ 除歳 オホトシ 晚載 オホトシ
 年の終 オホトシ 年の著 オホトシ 春の隣 オホトシ いわゆる年
 年の終 オホトシ 年の著 オホトシ 春の隣 オホトシ いわゆる年 オホトシ
 年の終 オホトシ 年の著 オホトシ 春の隣 オホトシ いわゆる年 オホトシ

鹿麩 ロウウリ 稠味酒 チウミシウ 豆腐 トウフ 药 ヤク 菊氷 キクヒヤ
 衣配 キヌクハ 節季候 セキキウ 姥等 ウバトナリ 八目鯉取 ヤツメノコイ
 蓑和田鯉取 ミヌカサノコイ 星佛賣 ホシボトケウ 早咲梅 ササキウメ
 孟宗竹 モウソウチク 煤掃 スエバキ 年志 トシノシ 年籠 トシノコ
 札納 シラナ 古曆 コヨミ 右小卷曆 ミナトマカヨミ 曆卷納 ヨミマカ
 門松管 カドマツ 録眷 ロクケン 録花 ロクカ 年木 トシノキ



国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

暮暮 年の際 年の名残 年の果
 年々の 暮を急 年尾 暮を元
 暮を待 年の座

○名所詞なごころば かきり たけ し て の り

二字 賀茂社 嵯峨山 八瀬里

井提玉川 鳥羽山吹 小野炭 宇治里川

壬生狂言 淀舟 久世終極 西院里社

狛里 英豆山吹 奈良里

巨勢地 佐保山 三輪社 園柄 緒緒

⑤

百

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

貴布禰 <small>社川</small> 愛宕 <small>橋之系</small> 伏見 <small>里山</small>	二之字 大内山 <small>楊</small> 北野 <small>聖廟</small> 一夜松 <small>初名</small>	那智 <small>山</small> 重籠 <small>紀伊</small> 鞆 <small>浦</small> 後	不破 <small>板庇</small> 佐野 <small>松原</small> 泉 <small>佐野</small> 大和	丹後 富皇 <small>山高根</small> 三穂 <small>浦</small> 松原 <small>後</small>	依那 <small>舟橋</small> 賀古川 <small>曾根</small> 松 <small>社</small> 播 <small>上</small>	蝦夷 <small>昆布</small> 陸奥 木曾 <small>松笠</small> 諏訪 <small>湖</small>	由良 <small>磯</small> 与謝 <small>入海</small> 天橋立	比良 <small>嶽</small> 武佐 <small>伯努田</small> 蛸 <small>蛸</small>	昆陽 <small>比</small> 日枝 <small>山高根</small> 真母 <small>入江</small>	輕 <small>比</small> 猪名川 須 <small>浦</small> 寺
--	--	--	---	---	---	---	--	--	--	--

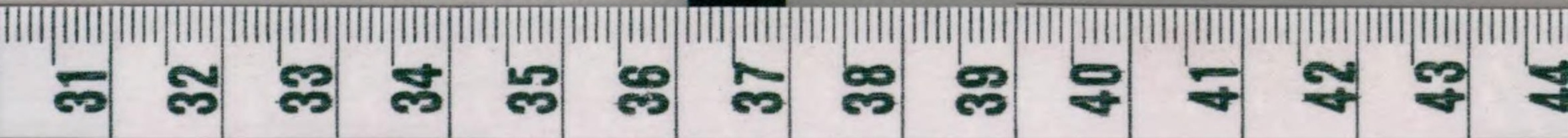


国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

龍田 山川社 お系一六	高天 寺梅 お心多	春日 社里野 お火鹿	八幡 山社 放生川	柞 社お系 お系	稻 社お系 お系	戸難 山社 お系	赤涼 川里 お系	若羽 川里 お系	梅津 川里 お系	木幡 里人 お系
六田 又お系 お系	吉野 山里川 お系	泊瀬 古川の お系	三ノ室 山社 お系	浮田 社 お系	小人 山社 お系	祇園 山社 お系	常盤 山社 お系	醍醐 山社 お系	高雄 山社 お系	鞍馬 山社 お系
	豊等 寺 お系									平野 社 お系



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

飾 <small>カ</small> 廣 <small>カ</small> 藍 <small>イロ</small> 堀 <small>ホリ</small> 深 <small>コ</small> 菱 <small>ヒ</small> 江 <small>カ</small> 浦 <small>ウラ</small> 跨 <small>カ</small> 釣 <small>ツリ</small> 播 <small>ハ</small> 廣 <small>カ</small>	津 <small>ツ</small> 守 <small>シ</small> 神 <small>カミ</small> 浦 <small>ウラ</small> 底 <small>ソコ</small> 園 <small>ウヅ</small> 雞 <small>トリ</small> 野 <small>ノ</small> 氷 <small>ヒ</small> 室 <small>ム</small> 江 <small>カ</small> 口 <small>クチ</small>	廣 <small>カ</small> 田 <small>タ</small> 社 <small>カミ</small> 高 <small>タカ</small> 津 <small>ツ</small> 瓦 <small>イハ</small> 鏡 <small>カガミ</small> 箕 <small>ハシ</small> 面 <small>オモ</small> 孝 <small>タカシ</small> 之 <small>ノ</small> 居 <small>イ</small>	水 <small>ミ</small> 壺 <small>ヒ</small> 瀨 <small>セ</small> 里 <small>サト</small> 山 <small>ヤマ</small> 宿 <small>ヤド</small> 衣 <small>イ</small> 衣 <small>イ</small> 衣 <small>イ</small> 衣 <small>イ</small> 衣 <small>イ</small> 衣 <small>イ</small> 衣 <small>イ</small> 衣 <small>イ</small>	有 <small>ア</small> 馬 <small>ウマ</small> 温 <small>ユ</small> 泉 <small>セン</small> 籠 <small>カゴ</small> 細 <small>コ</small> 工 <small>コ</small> 芋 <small>イモ</small> 屋 <small>ヤ</small> 里 <small>サト</small> 子 <small>コ</small> 金 <small>カネ</small>	長 <small>チ</small> 柄 <small>カ</small> 橋 <small>ハシ</small> 里 <small>サト</small> 柱 <small>ハシラ</small> 玉 <small>タマ</small> 江 <small>カ</small> 沼 <small>ヅミ</small> 又 <small>マタ</small> 月 <small>ツキ</small> 雨 <small>アメ</small> 吟 <small>イ</small> 尾 <small>ビ</small> 仲 <small>ナカ</small> 浦 <small>ウラ</small>	浪 <small>ナミ</small> 波 <small>ナミ</small> 部 <small>ベ</small> 梅 <small>ウメ</small> 江 <small>カ</small> 浜 <small>ハマ</small> 江 <small>カ</small> 舟 <small>フネ</small> 舟 <small>フネ</small> 舟 <small>フネ</small> 舟 <small>フネ</small> 舟 <small>フネ</small> 舟 <small>フネ</small>	皇 <small>ミカド</small> 居 <small>イ</small> 巳 <small>ミ</small> 上 <small>カミ</small> 交 <small>カ</small> 野 <small>ノ</small> 宿 <small>ヤド</small> 波 <small>ナミ</small> 磯 <small>イソ</small> 杜 <small>ツツジ</small> 院 <small>ヰン</small> 梅 <small>ウメ</small>	穴 <small>アナ</small> 師 <small>シ</small> 山 <small>ヤマ</small> 極 <small>ツクシ</small> 藪 <small>ヤブ</small> 宇 <small>ウ</small> 宿 <small>ヤド</small> 間 <small>マ</small> 水 <small>ミヅ</small> 加 <small>カ</small> 美 <small>ミ</small> 名 <small>ナ</small> 生 <small>シ</small>	宇 <small>ウ</small> 陀 <small>タ</small> 耶 <small>ヤ</small> 子 <small>コ</small> 考 <small>カウ</small> 青 <small>アヲ</small> 山 <small>ヤマ</small> 嶺 <small>リ</small> 伏 <small>フシ</small> 保 <small>ホ</small> 娘 <small>メ</small>
---	---	--	--	---	---	--	---	---	--

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

<p>三上<small>三カミ</small>山<small>山</small>伊吹山<small>イブキ</small>堅田<small>ツル</small> 浦深津堂</p>	<p>横川<small>ヨコガハ</small>寺八重<small>テ</small>長等<small>チカラ</small> 山<small>山</small>都<small>都</small></p>	<p>筑六<small>ツク</small>織の杖<small>オリ</small>大津<small>オホツ</small> 出女<small>出女</small> 矢走<small>ヤウシ</small></p>	<p>津<small>ツ</small>栗津<small>クリツ</small>古戦場<small>コセンバ</small> 日吉<small>ヒヨシ</small></p>	<p>社<small>社</small>七<small>七</small>星<small>星</small>の<small>の</small>已上<small>已上</small> 法向<small>ホウキョウ</small> 嵩<small>嵩</small> 遠<small>遠</small> 人<small>人</small></p>	<p>伏<small>フセ</small>後<small>後</small> 常木<small>トコノキ</small> 信濃<small>シノノ</small> 兜<small>カブト</small> 岩<small>イワ</small></p>	<p>二見<small>ニミ</small>浦貝<small>ウラガイ</small> 鈴鹿<small>スズカ</small> 八十<small>ヤチ</small> 已上<small>已上</small> 熱田<small>ネツタ</small></p>	<p>神<small>カミ</small>八<small>ハチ</small>鏡<small>キョウ</small>官<small>カン</small> 海<small>ウミ</small> 浦<small>ウラ</small> 尾張<small>オウヱ</small> 鹿<small>カ</small> 嶋<small>シマ</small></p>	<p>常陸<small>トコノチ</small> 筑波<small>ツクバ</small> 山<small>山</small> 常陸<small>トコノチ</small> 岳井<small>ツツキ</small></p>	<p>宿<small>ヤド</small> 坂<small>サカ</small> 上<small>ウヘ</small> 草<small>クサ</small> 枕<small>マク</small> 農<small>ノウ</small> 碓氷<small>ウヰヒ</small> 峠<small>ツツ</small> 上<small>ウヘ</small></p>	<p>安達<small>ヤタダ</small> 鬼<small>オニ</small> 最<small>モト</small> 取<small>ト</small> 老<small>オウ</small> 女<small>メ</small> 氷<small>ヒメ</small> 雄<small>オス</small> 峯<small>ミネ</small></p>	<p>崎<small>サキ</small> 小舟<small>コフネ</small> 信<small>シノ</small> 支<small>シ</small> 浦<small>ウラ</small> 壺<small>ツル</small> 碑<small>イシ</small> 里<small>サト</small> 已上<small>已上</small> 敦賀<small>ツルガ</small> 浦<small>ウラ</small></p>
---	--	---	---	---	--	---	--	--	---	---	---



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

源 里 鵜 山 科 若 羽 川 井 尾 野	長 岡 里 都 の 行 大 原 宮 代 の 松	小 笠 原 越 前 王 井 新 井 月	紅 葉 山 鳴 籠 岩 之 流 那 宮 別 れ 松 尾 末 考 在	武 藏 調 布 子 考 毒 水 中 川 宿 松 尾 籠	(四 字) 玉 川 井 出 桂 山 萩 郊 津	松 浦 神 功 皇 后 肥 田	佐 土 香 推 仲 は 松 浦 新 羅 の 心	淡 路 香 浦 海 士 室 戸 弘 法 性	越 前 高 野 山 大 塔 名 茶 目 於 人	越 前 有 磯 海 浦 中 越 生 野 大 鹿 記
---	--	--	---	--	---	--------------------------------------	--	---	--	---



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

三尾麻守山 <small>三尾麻守山 宿。已上 改辺江</small> 相坂園 <small>相坂園 宿。已上 改辺江</small>	谷上山 <small>谷上山 宿。已上 改辺江</small> 高山峯 <small>高山峯 宿。已上 改辺江</small>	相坂園 <small>相坂園 宿。已上 改辺江</small> 唐崎 <small>唐崎 宿。已上 改辺江</small>	石山寺 <small>石山寺 宿。已上 改辺江</small> 起井 <small>起井 宿。已上 改辺江</small>	武蔵海上 <small>武蔵海上 宿。已上 改辺江</small> 一説安房	相模 <small>相模 宿。已上 改辺江</small> 武蔵 <small>武蔵 宿。已上 改辺江</small> 月	八市山 <small>八市山 宿。已上 改辺江</small> 足柄 <small>足柄 宿。已上 改辺江</small>	甲斐鎌倉 <small>甲斐鎌倉 宿。已上 改辺江</small> 大磯 <small>大磯 宿。已上 改辺江</small>	三保沖 <small>三保沖 宿。已上 改辺江</small> 甲斐根 <small>甲斐根 宿。已上 改辺江</small>	八橋 <small>八橋 宿。已上 改辺江</small> 戸原 <small>戸原 宿。已上 改辺江</small>	度會 <small>度會 宿。已上 改辺江</small> 大定 <small>大定 宿。已上 改辺江</small>	宮川 <small>宮川 宿。已上 改辺江</small> 潮懸 <small>潮懸 宿。已上 改辺江</small>
--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

曾ソノの原ハラ等等木木更更科科月月抄抄衣衣

信信上上利利根根川川石石之之毛毛。上上野野武武隈隈松松

松松海海士士宮宮城城跡跡鹿鹿

十十号号松松同同名名山山城城跡跡鹿鹿

陸陸奥奥象象深深族族のの出出

白山白山竜竜ののははりり篠篠系系古古戦戦場場。

加加賀賀浦浦崎崎王王のの名名。丹丹岩岩代代神神

子子里里松松神神考考夕夕風風藤藤山山夜夜虫虫吹吹上上

神神社社松松。已已上上舟舟人人巖巖貝貝紀紀伊伊松松山山溪溪岐岐院院岐岐

高高砂砂浦浦相相生生松松尾尾上上袴袴。播播箱箱崎崎

神神角角水水朝朝倉倉本本丸丸屋屋深深川川仇仇

宿宿のの原原。已已上上王王考考里里のの洞洞楊楊

名名のの原原。已已上上王王考考里里のの洞洞楊楊

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

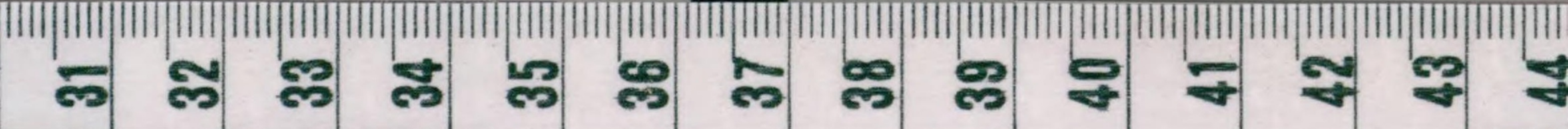
42

43

44

肥 石清 水 月 の 光 目 行 休 枝	五字 石清水 月の光 目行休 枝	神樂 園 社 厄 家 時 考 珍 虫 糸 珍 糸	瓜生山 將軍 論 藏 大井川 柵 代	朝日山 宇治 橋 平 考 院 蛭 糸 舟	秋の山 赤 羽 田 意 家 夏 の 杜 競 馬 競 家	磁原 泉 川 水 津 渡 久 途 郡 旗 鴻 布 晒	大昔水 杜 定 舟 曙 部 山 葉 松 於 入 埋 木	巳上 妹 背 山 老 井 川 中 と 満 り	伊駒山 社 家 の 雨 止 石 上 蓮 の 香	在 系 ち 井 治 始 子 向 山 お 葉 幣 糸
---	------------------------------	---	--------------------------------------	--	---	--	---	--	---	---

百五



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

枯野旁。已上。越の海。夕の。ハ。

越 大江山 酒吞童子。丹波。入佐山

杉人。但。行。天。津。凡。袖。の。別。

雲 子。浦。王。は。考。紀。大。和。考。

天。さ。う。の。淡。松。賀。浦。伯。の。後。の。淡。

私。多。の。々。名。の。定。り。あ。り。俳。諧。の。名。を。考。へ。し。と。く。た。大。更。考。出。し。て。他。例。の。後。と。し。

○名所不有分

都 京 九重 内裏 王城

宮城 禁中 朝廷 國

○俳諧式名

尚。菫。會 師。傳。アリ 萬。葉。俳。諧 上。同

本。式。俳。諧 上。同 九。種。俳。諧 上。同

書

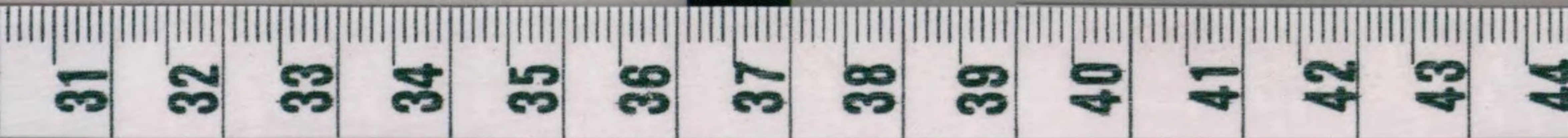


国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

漢和俳諧	和漢俳諧	韻字俳諧	百五
五句千句	百韻	五十韻	
四十句	歌仙		
○俳諧名目			
俳諧之連歌	發句	脇	第三
表句	一頓	再返	文臺
			宸紙
執筆	打越	裏	表
名残	折合	輪回	華前
月秋	平句	遣句	妙句
賦物	韻字	手余葉	宗近
真句	俳言	句長	乱吟
何句置	長曲	座著	墨付



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

前句 嚙 親 同意 出勝

○禁句之式

○婚禮養子の時

天 後家 後連 古枕 古衾

際明 暇 嬾 別 涙 別戀

二度花 二度咲 猿聲 追出鐘

歸 中惡 花縁 疾 縁無

荷送 返 又散 蕪 拈

○髪置の寸

乱髪 拗髪 髻結拂 髪切

秃天窓 抜髪 髪落 髪切虫

秃 神無月 紙無

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

赤。袴著の時

肌寒、破衣、丸襦、薄肌

苔衣、苔杖、ツレサセて入

○移徒屋移新宅の時

崩、燒野、萌出草、根絶、倒

焦、煙、燒餅、炙、薰、燃

無迹、蹤無、零落、誰礎

○天神講又ハ夢想心閑の時

無實、謔言、謔奏、九遷、謫遷

流人、遠流、寫守、そまらた

夏の世、耶耶枕、模

夏の世、耶耶枕、模



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

○ 祈禱の時

玉柳 紅葉仕敷 鳥邊野

化野 生別 死別 生死界

露泣 血泪 三途 六道辻

熱して無常哀傷の耳ふ立ツ言葉
用捨を尋て夕化めるる

○ 祝壽賀 初老賀 卒賀 六十賀
古稀賀 八十賀 米壽賀

短命 夭 難面命 老衰 老老

生過 短日 短夜 長ハ惶れ

腰貫 膝行 足不立 弱々

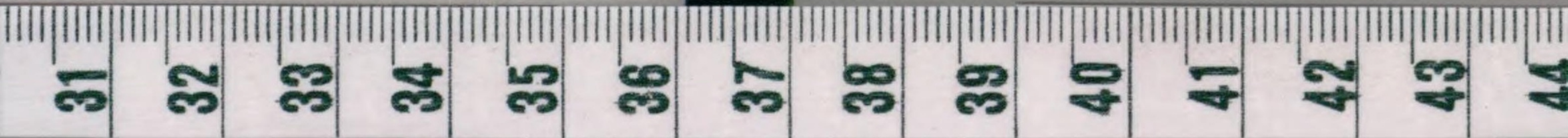
老木梅 老木柳 休歎日

身奮 不仕合 零落 借錢

口惜 外なるまうてあつて
准してさうする

百三

百二



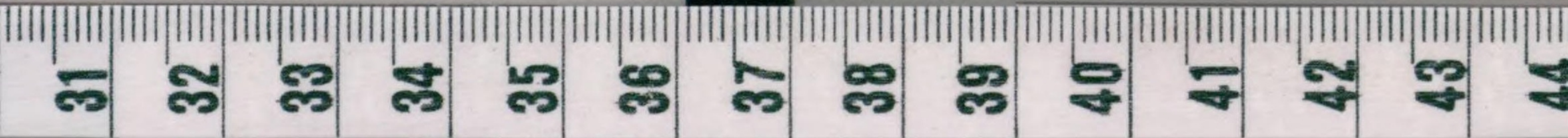
国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

戀	釋教	神祇	夏冬	春秋	句數式 并去嫌
二勺去	二勺去	二勺去	同季 五勺去	同季 五勺去	
二勺ヨリ五勺ニテ一勺ニテハ ステス悉ク字折ラ嫌フ	神祇ト同ジ	一勺ニテモクルレカラズ 三勺ヨリ多クハセス	一勺ヨリ三勺ニテツヅク 三勺ヨリ多クハセス	二勺ヨリ五勺ニテツヅク 二勺ニテハステス	

追悼追善の時
 沈 苦 責 迷 返
 亦 罪 深 沈 淪 浮 沈 三 途
 地 獄 餓 鬼 畜 生 生 死 海
 幽 霊 野 曝 人 鬼 狸 化
 狐 火 キツ子ヒ は外多くあり余ハハハ准
を



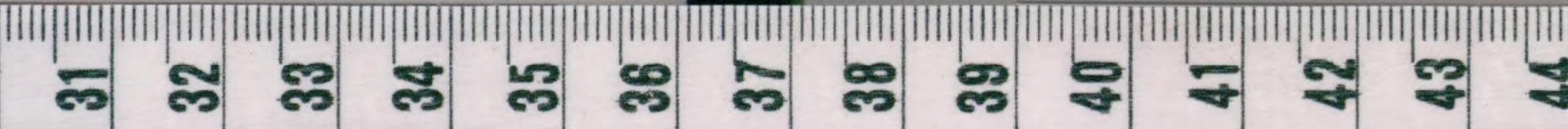
国立国会図書館
 タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

衣類	同	植物	同	生類	居所
三勺去	二勺去	三勺去	二勺去	三勺去	三勺去
二勺ヨリ多クハツ、カヌ衣ノ字 カヌ去袖ト袖三勺去、	木ト草竹トカハリタル モノト竹トハ五勺去	木ト本草ト草ト又カハリタル モノト二勺ヨリ多クハツ、カヌ	鳥ト虫ト獸ト鳥トノ ヤウニカハリタルコトナリ	鳥ト鳥虫ト虫ト魚ト獸ト 獸トカハリタルモノト多クハツ、カヌ	一勺三勺モ不苦三勺一テモ ツク

旅	人倫	水邊	山類	無常	迷懷
三勺去	二勺去	三勺去	三勺去	三勺去	共ニ
二勺ヨリ多クハツ、カヌ旅ノ字一座二三 クルカラス	一勺モツクナリ	山類同シ	一勺三勺モ不苦三勺一テモ ツク体用コト少クナリ	一勺三勺モ不苦三勺一テモ ツク体用コト少クナリ	一勺三勺モ不苦三勺一テモ ツク体用コト少クナリ



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

名所	二勺去	二勺ヨリ多クハツカス
國名	二勺去	一勺モツクヘシ名所ト國名モ二勺去
夜分	三勺去	三勺マテモスルナリ一勺ニテモクルレカラス
時分	夕時分トノ二勺去	夕時分トノ二勺去
降物	二勺去	二勺ヨリ多ハツカス雪雨露ナトカハリタルトク
聳物	二勺去	二勺ヨリ多クハセス但霧ハ降物聳物兩方ク

天象 二勺去 一勺ニテモヨシ 二勺モツク

○懷紙之句法

百韻

表八勺	七勺目	裏十四	十勺目
二面十四	十勺目	二裏十四	十勺目
三面十四	二裏同シ	三裏十四	二裏同シ

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

名残
表十四 三表同

名残
裏八句 七句目花

百韻 五十頁 二折

百韻 二之折

四十四 二折 世吉尾

百韻 初折 名残 折合

天象
源氏 三折

表六句 九句目月

ウ十二 八句月
十一句花

二才十二 土秋_カ

ウ十二 八句月
十一句花

十二 土秋_カ

十六 九句目花

歌仙卷

表六句 九句目月

裏十二 八句月
十一句花

十表十二 十句月

十裏六 九句目花

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

八十八真

折米ノ守庄

其角作

表八分

方目月

ウ十二

七夕月
十一花

二ヲ

十一
月カ秋

二ウ十二
三ウ十二

七夕月
十一花

名才十二

十一
月カ秋

名ウ八

七夕目花

七十二候

三折

同作

百韻中折除ク

以下免スト云説モアレ庄曾テ格式ナシ
時ノ真ニコリテ免スモハンヘルナリ
宗通ノハカラヒニヨルヘ

三ツ物

足等ハ其免スヘキ限リアリテ傳フ
アリを歳且及ヒ三ケ日ニテクモノナリ
其余ハ分三物トテ云捨ナリ

百七

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用

特1
2779

寛政七載乙卯秋

書麿

志

柳原喜兵衛
鹿嶋忠兵衛
西村源太
野田治兵衛
田中庄兵衛
吉原庄助
葛西市良兵衛
北村良兵衛

筆者 洛陽 堀貞水



国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用



31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

国立国会図書館
タイトル『俳翼』

請求記号 特1-2779

ガラス使用